

施策評価調書(1)

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

めざす姿	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”
施策名	3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり
施策関係課	(福祉部)長寿支援課・介護保険課／(保健部)高齢者保険事業室

●施策の基本方針(目標)
急速な高齢化が進展する中、住みなれた地域で高齢者が元気に生きがいを持ち、いかなる心身の状態にあっても、地域で安心して暮らせる環境づくりを推進します。

●目標指標							
指標①	名称	この施策の推進が図られていると感じる人の割合(市民意識調査:Ⅰ-3)				単位	%
	目標値	現状値を上回る(令和7年度)	現状値	27.7(令和2年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	27.500	30.000	28.400	27.300	0.000	
指標②	名称	要介護認定を受けている高齢者の割合				単位	%
	目標値	R7年の推計値を下回る(令和7年度)	現状値	16.2(令和2年度)		指標の種別	成果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	16.400	17.200	17.700	17.800	0.000	
指標③	名称	生活機能が低下した高齢者の介護予防教室の参加者数				単位	人
	目標値	704(令和7年度)	現状値	639(令和元年度)		指標の種別	結果
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値	289.000	335.000	445.000	543.000	0.000	
指標④	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						
指標⑤	名称					単位	
	目標値		現状値			指標の種別	
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	実績値						

事業額	(単位:千円)	令和3年度決算額	令和4年度決算額	令和5年度決算額	令和6年度決算額	令和7年度予算額
	事業費	2,441,540	2,499,877	2,634,007	2,656,301	2,819,267
	概算人件費	319,713	322,553	324,848	341,253	360,884
	総事業費	2,761,253	2,822,430	2,958,855	2,997,554	3,180,151

* 前年度に「完了」「休止」「廃止」となった事業額についても合算されています。

総合評価	評価結果	単位施策ごとの評価結果			総合評価の区分
	B	単位施策① 51	単位施策② 52	単位施策③ 49	結果(平均値)が55以上:A 結果(平均値)が50以上55未満:B 結果(平均値)が40以上50未満:C 結果(平均値)が40未満:D
	(前回評価結果)	単位施策④	単位施策⑤	結果(平均値)	
	B			50.7	

施策評価調書(2)

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

施策を構成する実施計画事業の状況 (単位: 千円)

単位施策名 ① 高齢者福祉の充実								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
小井戸用地管理費	福祉部	447	496	495	490	498	40	現状維持で実施
	長寿支援課	790	770	790	810	830		
長寿者慰問等事業	福祉部	8,647	8,612	9,306	8,307	690	50	縮小して実施
	長寿支援課	3,950	3,850	3,950	4,050	4,150		
敬老祝金事業	福祉部	83,749	80,555	79,862	99,862	31,406	54	縮小して実施
	長寿支援課	3,950	3,850	3,950	4,050	4,150		
世帯住替家賃助成事業	福祉部	1,535	1,156	1,028	1,322	2,028	44	現状維持で実施
	長寿支援課	790	770	790	810	830		
福祉施設整備事業	福祉部	13,197	32,629	11,904	13,827	19,208	54	現状維持で実施
	長寿支援課	790	770	790	810	830		
社会福祉団体等補助事業	福祉部	21,251	20,148	19,560	18,609	17,984	54	現状維持で実施
	長寿支援課	9,480	9,240	9,480	8,100	8,300		
老人ホーム入所等措置事業	福祉部	142,854	119,578	103,080	99,212	119,038	52	現状維持で実施
	長寿支援課	3,950	3,850	3,950	4,050	4,150		
緊急通報装置整備事業	福祉部	17,321	17,269	14,834	13,291	14,340	54	現状維持で実施
	長寿支援課	2,370	2,310	2,370	2,430	2,490		
在宅福祉相談事業	福祉部	7,570	7,570	7,570	7,770	7,770	58	現状維持で実施
	長寿支援課	158	154	158	2,835	2,490		
生活支援対策事業	福祉部	89,053	79,997	81,404	89,576	95,103	54	現状維持で実施
	長寿支援課	14,220	13,860	14,220	14,580	14,940		
重度化防止事業	福祉部	—	—	—	2,092	5,150	54	現状維持で実施
	長寿支援課	—	—	—	2,430	2,490		
福祉手当給付事業	福祉部	53,690	53,335	55,315	46,620	56,600	52	現状維持で実施
	長寿支援課	2,370	2,310	2,370	2,430	2,490		
高齢者住宅改善整備費補助事業	福祉部	2,600	2,800	2,400	1,800	2,600	52	現状維持で実施
	長寿支援課	1,185	1,155	1,185	1,215	1,245		
高齢者住宅確保支援事業	福祉部	0	0	0	0	50	36	現状維持で実施
	長寿支援課	790	770	790	810	830		
成年後見制度利用促進事業	福祉部	22,557	20,647	22,332	25,002	27,369	56	現状維持で実施
	長寿支援課	5,530	5,390	5,530	5,670	5,810		
社会福祉センター指定管理者管理運営費	福祉部	50,551	51,761	52,987	54,228	55,486	54	現状維持で実施
	長寿支援課	790	770	790	810	830		
老人デイサービスセンター指定管理者管理運営費	福祉部	109,784	113,921	118,114	122,357	126,664	50	効率化して実施
	長寿支援課	790	770	790	810	830		
養護老人ホーム指定管理者管理運営費	福祉部	130,944	131,600	132,804	133,478	134,160	52	効率化して実施
	長寿支援課	790	770	790	810	830		
特別養護老人ホーム指定管理者管理運営費	福祉部	90,935	95,846	100,822	105,863	110,968	50	効率化して実施
	長寿支援課	790	770	790	810	830		
軽費老人ホーム指定管理者管理運営費	福祉部	71,455	72,198	73,707	74,253	75,241	52	現状維持で実施
	長寿支援課	790	770	790	810	830		
老人福祉センター指定管理者管理運営費	福祉部	95,085	103,499	111,351	111,411	111,472	54	現状維持で実施
	長寿支援課	790	770	790	810	830		
特別養護老人ホーム等整備促進事業	福祉部	—	—	—	78,602	30,000	54	現状維持で実施
	介護保険課	—	—	—	1,620	1,660		

単位施策名	② 介護事業の充実								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性	
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費			
介護予防把握事業	福祉部	13,909	15,192	14,492	16,761	21,609	52	現状維持で実施	
	長寿支援課	4,108	4,004	4,108	5,427	5,561			
介護予防普及啓発事業	福祉部	40,759	41,083	40,577	40,899	46,606	52	現状維持で実施	
	長寿支援課	10,349	10,087	10,349	8,505	8,715			
在宅医療・介護連携推進事業	福祉部	8,629	11,905	11,548	11,703	15,439	52	現状維持で実施	
	長寿支援課	3,002	2,926	3,002	6,723	6,889			
認知症総合支援事業	福祉部	43,130	49,037	54,341	54,495	55,402	54	現状維持で実施	
	長寿支援課	7,584	7,392	7,584	5,103	4,399			
地域ケア会議推進事業	福祉部	26,400	26,370	26,400	26,360	26,440	52	現状維持で実施	
	長寿支援課	1,027	1,001	1,027	4,131	4,316			
総合相談事業	福祉部	358,312	341,790	352,517	367,522	379,505	56	現状維持で実施	
	長寿支援課	4,108	4,004	4,108	4,698	3,320			
生活支援体制整備事業	福祉部	92,818	92,818	92,818	92,845	92,999	52	現状維持で実施	
	長寿支援課	3,634	3,542	3,634	7,128	7,304			
介護予防・生活支援サービス事業	福祉部	31,046	31,469	30,959	27,640	33,203	52	現状維持で実施	
	長寿支援課	711	693	711	3,564	3,652			
介護予防ケアマネジメント事業	福祉部	61	0	0	0	36	54	現状維持で実施	
	長寿支援課	4,108	4,004	4,108	1,458	1,494			
地域介護予防活動支援事業	福祉部	682	813	1,235	1,478	2,101	52	現状維持で実施	
	長寿支援課	3,792	3,696	3,792	4,779	4,897			
地域リハビリテーション活動支援事業	福祉部	—	800	1,470	2,010	2,580	52	現状維持で実施	
	長寿支援課	—	4,004	4,108	3,564	3,652			
家族介護継続支援事業	福祉部	41,719	39,809	40,144	45,759	49,370	52	現状維持で実施	
	長寿支援課	3,950	3,850	3,950	4,050	4,150			
認知症高齢者見守り事業	福祉部	15	10	15	10	98	50	現状維持で実施	
	長寿支援課	2,370	2,310	2,370	2,430	2,490			
成年後見制度利用支援事業	福祉部	16,251	15,657	15,418	19,807	29,278	54	現状維持で実施	
	長寿支援課	5,530	5,390	5,530	5,670	5,810			
認知症サポーター等養成事業	福祉部	212	172	135	154	366	58	現状維持で実施	
	長寿支援課	4,266	4,158	4,266	5,589	4,482			
権利擁護事業	福祉部	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	56	現状維持で実施	
	長寿支援課	4,108	4,004	4,108	4,698	3,320			
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	福祉部	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	56	現状維持で実施	
	長寿支援課	4,029	3,927	4,029	4,698	3,320			
介護保険事業者育成事業	福祉部	1,606	1,786	2,608	2,695	2,302	54	現状維持で実施	
	介護保険課	1,580	1,540	1,580	1,620	1,660			
軽費老人ホーム運営助成事業	福祉部	20,751	20,578	19,408	19,985	22,220	48	拡充して実施	
	介護保険課	790	770	790	810	830			
地域密着型サービス等整備助成事業	福祉部	46,282	75,352	130,659	2,403	44,505	50	現状維持で実施	
	介護保険課	790	770	790	810	830			
地域介護・福祉空間整備推進事業	福祉部	—	11,896	23,256	0	42,828	46	現状維持で実施	
	介護保険課	—	770	790	810	830			
介護保険運営協議会運営費	福祉部	184	280	635	313	435	58	現状維持で実施	
	介護保険課	1,975	1,925	2,370	2,025	2,075			
介護保険電算システム費	福祉部	16,148	0	23,868	6,534	7,645	52	現状維持で実施	
	介護保険課	790	0	790	810	830			
利用者負担額軽減事業	福祉部	211,990	229,396	238,150	247,320	268,546	56	現状維持で実施	
	介護保険課	1,343	1,309	1,343	1,377	1,411			

単位施策名 ② 介護事業の充実								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
介護保険事業計画策定事業	福祉部 介護保険課	81	1,210	2,943	0	1,218	56	現状維持で実施
		2,133	2,079	2,765	2,187	2,241		
介護保険料賦課徴収関係経費	福祉部 介護保険課	28,939	31,057	31,788	34,526	44,195	56	現状維持で実施
		47,400	53,900	55,300	48,600	58,100		
介護認定審査会関係経費	福祉部 介護保険課	202,123	220,105	230,037	276,670	311,644	52	拡充して実施
		134,300	123,200	118,500	121,500	132,800		
介護給付費等点検事業	福祉部 介護保険課	7,462	6,985	7,877	8,130	10,130	54	現状維持で実施
		1,343	1,309	1,343	1,377	1,411		
福祉用具・住宅改修支援事業	福祉部 介護保険課	0	2	4	0	44	34	現状維持で実施
		553	539	553	567	581		
地域自立生活支援事業	福祉部 介護保険課	95	87	598	619	1,239	50	現状維持で実施
		1,817	1,771	1,817	1,863	1,909		
高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業	保健部 高齢者保険事業室	—	1,767	2,119	2,963	15,492	52	拡充して実施
		—	6,930	7,110	7,290	7,470		

単位施策名 ③ 社会参加の場と機会の充実								
事業名称	担当課	令和3年度 事業費 (決算額)	令和4年度 事業費 (決算額)	令和5年度 事業費 (決算額)	令和6年度 事業費 (決算額)	令和7年度 事業費 (予算額)	令和6年度の 総評価	令和7年度の 実施方向性
		概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費	概算人件費		
全国健康福祉祭開催準備事業	福祉部 長寿支援課	—	—	—	248	12,194	40	拡充して実施
		—	—	—	2,592	4,150		
老人福祉センター事業補助金	福祉部 長寿支援課	57,151	57,138	76,746	76,028	72,700	52	現状維持で実施
		790	770	790	810	830		
生きがい活動支援事業	福祉部 長寿支援課	1,560	1,696	2,367	2,452	3,073	54	現状維持で実施
		2,370	2,310	2,370	2,430	2,490		

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	小井戸用地管理費				担当	福祉部 長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	3	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	平成3年、高齢者総合福祉施設建設用地として土地開発公社が取得した土地の適正な管理を行う。		土地の適正な管理。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	除草		除草		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	適正な管理がされた。		昨年度から引き続き、土地の半分について土地開発公社と民間業者が賃貸借契約を締結しているため、有効活用が図れている。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	1 目	2 細目	1 細々目	小井戸用地管理費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		513		514		547		498		355
決算額(B)=(C)+(D)		496		495		490				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	496		495		490		498		
概算人件費(E)		770		790		810		830		830
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)			1,266		1,285		1,300		1,328 1,185

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	不明	7 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	7 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	不明	
	将来的な市民のニーズ	不明			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	受益者なし	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
40 /60	昨年度から引き続き、土地開発公社と民間業者の賃貸借契約に基づき、土地の半分を一時利用している。しかし、未利用部分については、管理が残っている。今後、隣接道路が拡幅されないと売却手続きが進まない。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	長寿者慰問等事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	51	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	長年に渡り社会の発展に貢献された高齢者に対し、敬老の意を表するとともに、併せて高齢者の福祉の増進を図る事を目的とする。		高齢者が生きがいを感じ、健やかに過ごすことに寄与し、高齢者を取り巻く家族関係者を取り巻く家族関係者にとっても、祝賀の気持ちを分かち合うことにより、豊かな人間関係を築く。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・100歳を迎える長寿者に職員が訪問し、御祝い品を贈呈した。 ・市内最高長寿者を訪問し、御祝い品を贈呈した。 ・80歳・90歳を迎える方に、市長のメッセージ及び御祝い品を贈呈した。		・100歳訪問 106人 ・市内最高長寿者 1人 ・80歳 5,152人 (対象者:5,162人) ・90歳 2,114人 (対象者:2,122人)	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	高齢者が生きがいを感じ、健やかに過ごすことに寄与できた。また、高齢者を取り巻く家族関係者を取り巻く家族関係者にとっても、祝賀の気持ちを分かち合うことにより、豊かな人間関係を築くことができた。		100歳訪問について対象者が増えたことにより、大変喜びの声があがる一方で一部のご家族から不要である旨の連絡をいただくことが増えたように感じる。80歳・90歳を迎える方に、市長のメッセージ及び御祝い品の贈呈を令和7年度から廃止することとした。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	1 目	3 細目	1 細々目	長寿者慰問等事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		9,146		9,582		9,167		690		690
決算額(B)=(C)+(D)		8,612		9,306		8,307				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	8,612		9,306		8,307		690		
概算人件費(E)		3,850		3,950		4,050		4,150		4,150
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	12,462		13,256		12,357		4,840		4,840

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	9 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	不明			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	高齢化に伴い、対象者が年々増加しており、事務に時間を要す。住まいが多様化(施設等)している事から、住民票と実態が異なる事があり、適切に贈呈できないことがある。	翌年度	縮小して実施
		翌々年度	縮小して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	敬老祝金事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	58	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市敬老祝金贈呈条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	8月31日現在、1年以上川口市に住民登録登録がある77歳、88歳、99歳に対し、敬老の意を表するとともに、長寿を祝福することを目的としている。	長寿を祝福することで、高齢者が生きがいを感じ、賀寿を迎えたことについての喜びに繋がる。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	祝金の贈呈 ・77歳 5,000円 ・88歳 20,000円 ・99歳 50,000円	・満77歳 6,854人(対象者7,008人) ・満88歳 2,824人(対象者2,882人) ・満99歳 109人(対象者 111人)	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	長寿を祝福することで、高齢者が生きがいを感じ、賀寿を迎えたことについての喜びに繋がった。	令和7年度から対象者、贈呈額を見直して実施する。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称		指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計	3 款	2 項	1 目	4 細目	1 細々目	敬老祝金事業	
年度		令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		82,733	84,978		102,255		31,406		37,215
決算額(B)=(C)+(D)		80,555	79,862		99,862				
財源※	特定財源(C)	0	0		0		0		
	一般財源(D)	80,555	79,862		99,862		31,406		
概算人件費(E)		3,850	3,950		4,050		4,150		4,150
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
				0.50	0.00	1.00	0.00	0.50	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		84,405	83,812		103,912		35,556		41,365

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
54 ／60	令和7年度から対象者、贈呈額を見直して実施する。	
		翌年度 縮小して実施
		翌々年度 現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	世帯住替家賃助成事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	5	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市高齢者世帯住替家賃助成実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	民間の賃貸住宅の取り壊し等により、転居を求められた単身高齢者及び高齢者世帯に、転居後の家賃増加額を助成することにより、高齢者の住まいの安定を図る事を目的とする。		単身高齢者及び高齢者世帯が急な転居により生じる家賃負担を軽減し、安定的な住まいの確保を図る。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	制度利用者への助成金振り込み。 新規申請者の認定(1件)。 制度利用者の認定取り消し(1件)。		対象数 7件 補助額 1,322,300円	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	高齢者の住まいの安定が図られ、引き続き市内に居住することができた。		対象者の安定的な住まい確保に繋がっている。 (対象要件) ・市内に引続き2年以上居住し、非課税且つ、65歳以上の単身高齢者 ・市内に引続き2年以上居住し、非課税且つ、65歳以上の者を含む60歳以上の者で構成される世帯	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	1 目	5 細目	1 細々目	世帯住替家賃助成事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		2,172		1,788		1,548		2,028		2,028
決算額(B)=(C)+(D)		1,156		1,028		1,322				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	1,156		1,028		1,322		2,028		
概算人件費(E)		770		790		810		830		830
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		1,926		1,818		2,132		2,858		2,858

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	7 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
44 ／60	転居を求められた高齢者が引き続き市内に居住できるよう、事業内容の周知を図り支援を進めていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	福祉施設整備事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	7	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市老人福祉施設整備費に対する利子助成金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	市内の老人福祉施設に対する整備促進を目的としている。		市内の老人福祉施設の整備を促進する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・埼玉県と賃貸借契約を締結した借地を、社会福祉法人(特別養護老人ホーム運営)に引き続き貸付けた。(H20.3～) ・川口市社会福祉事業団に移管した施設(老人福祉センター)の施設整備に係る経費を補助した。		・社会福祉法人から貸付料を収納。 10,276,123円 ・老人福祉センターの施設整備を補助。 鳩ヶ谷福祉センター(受変電設備改修工事) 1,741,300円 本町たたら荘(茶室解体工事) 1,809,500円		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・特別養護老人ホームの運営事業を継続。 ・老人福祉センターの施設整備が進んだ。		必要に応じた福祉施設の整備を実施できた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	1 目	6 細目	1 細々目	福祉施設整備事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		33,907		12,972		14,221		19,208		19,028
決算額(B)=(C)+(D)		32,629		11,904		13,827				
財源※	特定財源(C)	10,276		10,276		10,276		10,790		
	一般財源(D)	22,353		1,628		3,551		8,418		
概算人件費(E)		770		790		810		830		830
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		33,399		12,694		14,637		20,038		19,858

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 ／60	移管施設の老朽化が進み、今後の施設整備には大きな支出を伴う可能性が高いことから、事業の見直しなど検討が必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	社会福祉団体等補助事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	56	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市老人クラブ活動助成金交付要綱 高齢者公衆浴場入浴料減免事業補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部補助金・負担金		
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)			
	・老人クラブおよび65歳以上の協定公衆浴場利用市民に対し実施し、高齢者の福祉の向上に寄与することを目的とする。 ・生活困難者に利用者負担軽減を実施する社会福祉法人に対し支援を行う。		・老人クラブ活動は、高い公共性を有し、地域に根差した活動となる。 ・公衆浴場入浴料減免事業は、高齢者の健康増進、福祉の向上に寄与する。			
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)			
	・老人クラブ(地区単位)に補助金を支出。 ・毎週土曜日及び特定日(敬老の日・福祉の日)に入浴料金の割引を実施。 ・生計困難者に利用者負担軽減を実施する社会福祉法人に補助金を支出する。		・老人クラブ活動助成金 単位クラブ:153団体 ・公衆浴場入浴料減免 延べ人数:17,382人 ・利用者負担軽減助成 4法人			
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題			
	・老人クラブ活動は、高い公共性を有し、地域に根差した活動となった。 ・公衆浴場入浴料減免事業は、高齢者の健康増進、福祉の向上に寄与した。 ・利用者負担軽減助成を行うことで、社会福祉法人が行う軽減事業を支援した。		・高齢者の趣味や生きがいの多様化により、老人クラブの単位クラブ数・人数が減少傾向にあり、かつ高齢化が進んでいる。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	老人クラブ加入者数				指標・目標値の説明(算定式)	老人クラブ加盟者数の実績から2%の伸率を見込むもの。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		11,700.00		11,400.00		11,000.00		10,000.00		0.00		
	実績値・達成状況	11,211.00	未達成	10,877.00	未達成	10,448.00	未達成					
指標②	名称	公衆浴場利用者延人数				指標・目標値の説明(算定式)	前年度実績から2%の伸率を見込むもの。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		26,000.00		26,000.00		20,900.00		0.00		0.00		
	実績値・達成状況	24,366.00	未達成	20,497.00	未達成	17,382.00	未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	1 目	10 細目	1 細々目	社会福祉団体等補助事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		20,895		22,226		21,463		17,984		18,504
決算額(B)=(C)+(D)		20,148		19,560		18,609				
財源※	特定財源(C)	5,496		5,879		5,170		5,291		
	一般財源(D)	14,652		13,681		13,439		12,693		
概算人件費(E)		9,240		9,480		8,100		8,300		8,300
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.20	0.00	1.20	0.00	1.00	0.00	1.00
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		29,388		29,040		26,709		26,284		26,804

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	各老人クラブが新規会員を獲得していくためには、クラブが魅力ある活動を実施していく必要があり、その活動が円滑に実施できるよう引き続き補助金の交付する必要がある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	老人ホーム入所等措置事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7652	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度	
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	老人福祉法11条1項1号 川口市老人福祉法施行細則5条1項 川口市老人ホーム入所判定委員会設置要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	緊急性があり、65歳以上で、居宅において養護を受けることが困難な方の権利擁護及び生命等の安全を図る。	居宅で生活することが困難な高齢者を入所等措置することにより、心身の安定と健康の保持を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	老人福祉法に基づき市町村長の措置として養護老人ホームや特養入所	緊急性がある高齢者を措置したことにより、権利擁護及び生命等の安全が守られた。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	措置入所したことにより、心身の安定と健康の保持が図られた。	居宅において適切な生活を送ることが困難な方の権利擁護及び生命等の安全を図り、養護老人ホーム等への措置入所をするため、予め必要数を算定することが困難である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	年度末措置者数				指標・目標値の説明(算定式)	年度末措置入所者数。事業の性質上、目標値は設定しない。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		
	実績値・達成状況	51.00	—	42.00	—	45.00	—					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	2 目	2 細目	1 細々目	老人ホーム入所等措置事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		123,359		107,609		103,406		119,038		119,038	
決算額(B)=(C)+(D)		119,578		103,080		99,212					
財源※	特定財源(C)	16,646		12,318		12,658		11,167			
	一般財源(D)	102,932		90,762		86,554		107,871			
概算人件費(E)		3,850		3,950		4,050		4,150		4,150	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	123,428		107,030		103,262		123,188		123,188	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	居宅において適切な生活を送ることが困難な方の権利擁護及び生命等の安全を図り、養護老人ホーム等への措置入所をするため、予め必要数を算定することが困難であり、予算を削減しすぎてしまうと必要な措置入所をさせることが困難になる恐れがある。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	緊急通報装置整備事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7652	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	昭和	62	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市緊急通報システム事業実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	急病や災害時に迅速かつ適切な対応を図るとともに、健康相談をはじめとする各種相談及び定期的な安否確認を行うことで、高齢者の不安を解消することを目的とする。		単身等による高齢者の急病、事故等の緊急事態が発生した場合に備えることによる精神的不安解消や、孤独死の場合、何日間も放置されることが極力少なくなる。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・緊急通報装置を貸与した。 ・必要に応じ救急車の出動を依頼した。 ・専門の看護師等による健康・生活相談及び月1回の安否確認を行った。 ・定期的に通話を行うことにより、当該高齢者の孤独感を和らげた。		緊急時または日常生活における高齢者の不安解消に役立った。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	急病や災害時に迅速かつ適切な対応を図ることができた。 健康相談をはじめとする各種相談及び定期的な安否確認を行うことで、高齢者の緊急時または日常生活における不安解消に役立った。		緊急通報システムについて、固定型のものは施設入所者の増加や携帯電話の普及もあり、機器の設置台数は減少傾向である。一方で協定方式をとっている携帯型については増加傾向であり、費用の増加が見込まれるため財源の確保が課題である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	緊急通報装置設置台数				指標・目標値の説明(算定式)	事業の性質上、目標値は設定しない。				
	単位	台	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	846.00	－	744.00	－	643.00	－				
指標②	名称	通報件数				指標・目標値の説明(算定式)	事業の性質上、目標値は設定しない。				
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	194.00	－	153.00	－	149.00	－				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	2 目	3 細目	1 細々目	緊急通報装置整備事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		19,150		15,302		15,542		14,340		14,340
決算額(B)=(C)+(D)		17,269		14,834		13,291				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	17,269		14,834		13,291		14,340		
概算人件費(E)		2,310		2,370		2,430		2,490		2,490
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	19,579		17,204		15,721		16,830		16,830

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	高齢者が増加している実情を踏まえ、今後は需要が増えていくと見込まれるため、財源の確保が課題である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	在宅福祉相談事業				担当	福祉部 長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9745	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	6	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市認知症高齢者相談事業実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	認知症の高齢者等とその家族等が抱える保健、医療、福祉等に関わる心配ごと、悩みごとに対する相談に応じ、認知症の高齢者等とその家族等の福祉の増進を図る。		認知症高齢者を抱える家族を対象に、心配事や在宅での介護等について、看護師等が電話及び面接により相談を受け適切なアドバイスを行う。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	①認知症に関する相談業務 ②専門医による医療相談		①認知症高齢者相談件数:2,303件 ②認知症専門医相談:68件		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	医療、福祉等に関わる心配ごと、悩みごとに対する相談に応じ、認知症の高齢者等とその家族等の福祉増進を図った。		必要に応じて専門医相談を行うほか、認知症初期集中支援チームなど関係機関との連携強化が必要である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	相談件数(在宅福祉相談事業)			指標・目標値の説明(算定式)	件数の増減が成果指標に繋がるとは考えていないことから、目標値は設定しないもの。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし
	実績値・達成状況	2,215.00	—	2,425.00	—	2,303.00	—			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	2 目	3 細目	2 細々目	在宅福祉相談事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		7,570		7,570		7,770		7,770		7,770
決算額(B)=(C)+(D)		7,570		7,570		7,770				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	7,570		7,570		7,770		7,770		
概算人件費(E)		154		158		2,835		2,490		2,490
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.02	0.00	0.02	0.00	0.35	0.00	0.30
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		7,724		7,728		10,605		10,260		10,260

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 ／60	認知症高齢者相談所の場所が移転になるため、広報周知の方法を検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	生活支援対策事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7652	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	6	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市高齢者自立支援事業実施要綱 川口市高齢者寝具乾燥消毒事業実施要綱 川口市高齢者配食サービス実施要綱他					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	おおむね65歳以上の虚弱な高齢者を対象に、生活支援対策事業を行うことにより、高齢者の自立と生活の質を確保し、在宅福祉の向上を図る。		高齢者本人や家族の経済的、身体的、精神的な負担を軽減し、在宅で安心して快適な生活を送れるようにする。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・日常生活用具の給付、福祉用機器の貸与、寝具乾燥、安否確認を行う配食サービスなどを行った。 ・ヘルパーを派遣し、家事援助及び身体介護を行った。 ・常時臥床又は認知症等で失禁状態にある方に紙おむつを支給した。		生活に必要な用具の給付や、サービスの提供等を行い、在宅での生活を維持、継続することができた。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	生活する上での負担軽減、清潔な暮らしの確保、食生活の改善等により在宅での生活を維持、継続することができた。		交付金の見直しが行われた際は、財源の確保について関係各課と協議が必要である。サービス内容については、市民ニーズに合わせた提供となるよう検討が必要である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	配食サービス				指標・目標値の説明(算定式)	事業の性質上、目標値は設定しない。					
	単位	食	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		
	実績値・達成状況	160,280.00	－	162,291.00	－	161,524.00	－					
指標②	名称	寝具乾燥消毒				指標・目標値の説明(算定式)	事業の性質上、目標値は設定しない。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		
	実績値・達成状況	97.00	－	106.00	－	99.00	－					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	2 目	3 細目	3 細々目	生活支援対策事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		92,031		84,978		94,197		95,103		95,103
決算額(B)=(C)+(D)		79,997		81,404		89,576				
財源※	特定財源(C)	64,134		260		375		246		
	一般財源(D)	15,863		81,144		89,201		94,857		
概算人件費(E)		13,860		14,220		14,580		14,940		14,940
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80	0.00	1.80 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		93,857		95,624		104,156		110,043	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 ／60	事業の利用者数が増えてくることが見込まれる中で、交付金の見直しが行われた際の財源の確保について関係各課と協議が必要である。サービス内容については、市民ニーズに合わせた提供となるよう検討が必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	重度化防止事業			担当	福祉部	
					長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	252-0261	新規・継続	新規

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	6	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市高齢者補聴器購入費補助事業実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	65歳以上の聴力機能の低下のある高齢者を対象に、認知機能低下の重度化防止を図り、生活の質の確保や地域社会への参加を支援する。		聴力の低下のある高齢者の認知機能低下の重度化防止を図り、生活に支障が生じている高齢者の方は補聴器を利用することで、生活の質の向上や社会参加の機会増加へつなげる。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・ヒアリングフレイルチェックを市内20か所の地域包括支援センターにおいて実施するとともに、認知症相談会等の高齢者福祉イベント時にブース等を設け随時実施した。 ・難聴が疑われる場合、医療機関への受診を勧奨、補聴器補助金の制度案内をし、補聴器購入費の一部を補助した。		・認知機能の低下が疑われた場合、認知症相談へ案内し、認知症の高齢者及びその家族が抱える保健、医療、福祉など各種の心配ごとに対する相談に応じ、必要な支援に繋げた。 ・補聴器購入費の一部を補助した交付対象者に対し、補聴器購入後の生活環境確認のアンケートを実施するとともに、利用要件のない介護予防事業への参加勧奨を実施した。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	高齢者や家族の経済的負担の軽減、また認知機能低下の重度化防止につながった。		高齢者の増加に伴い補聴器を必要とされる方の増加は予想されるため、財源の確保について課題である。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	補聴器購入費補助				指標・目標値の説明(算定式)	事業の性質上、目標値は設定しない。					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		—		—		設定なし		設定なし		設定なし		
実績値・達成状況	—	—	—	—	100.00	—						

指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	3 款	2 項	2 目	3 細目	4 細々目	重度化防止事業			
年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)	0	0		2,092		5,150		5,150		
決算額(B)=(C)+(D)	0	0		2,092						
財源※	特定財源(C)	0		2,000		2,000				
	一般財源(D)	0		92		3,150				
概算人件費(E)		0		2,430		2,490		2,490		
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.30	0.00	0.30
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		4,522		7,640		7,640		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	補聴器購入後のアンケートにおいても満足度が高く、事業の利用者数が増えてくることが見込まれる中で、財源の確保についてが課題である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	福祉手当給付事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市重度要介護高齢者福祉手当支給条例 川口市外国人高齢者等福祉手当支給要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	高齢者の経済的負担軽減を図り、福祉の増進を図る。		同左	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・重度要介護高齢者福祉手当:65歳以上で要介護4, 5の認定を受けた非課税の方へ月額5,000円を支給。 ・外国人高齢者等福祉手当:1年以上本市に居住し、大正15年4月1日以前に生まれ若しくは、昭和57年1月1日に満20歳以上であり、公的年金を受けていない外国人の方へ月額5,000円を支給。		・重度要介護高齢者福祉手当 支給対象者:1,321人 ・外国人高齢者等福祉手当 支給対象者: 3人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	高齢者等の経済的負担を軽減することができた。		条例改正により、手当の支給が半年に1回だったものを年6回奇数月に支給するようになり、受給者への迅速な手当の支給をすることができるようになった。 要介護認定者が増加傾向にあり、それに伴い手当の需要も高まることが予想される。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	2 目	5 細目	1 細々目	福祉手当給付事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		62,916		57,483		50,685		56,600		56,600
決算額(B)=(C)+(D)		53,335		55,315		46,620				
財源※	特定財源(C)	15		0		10		5		
	一般財源(D)	53,320		55,315		46,610		56,595		
概算人件費(E)		2,310		2,370		2,430		2,490		2,490
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		55,645		57,685		49,050		59,090	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
52 ／60	届出や事務の一部の電子化ができているため、より一層確認等の効率化を図り作業時間の短縮をめざす。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	高齢者住宅改善整備費補助事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7652	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	6	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市高齢者住宅改善整備費補助事業実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	日常生活動作の低下した高齢者の生活の利便を図るため、住宅等の改善整備を行う方の、在宅福祉の向上を図る。		住宅の改善整備を行うことにより、生活範囲が広がり介護予防につながると共に、介護を行っている家族の負担を軽減すること。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	階段昇降機の設置工事、居室内等のトイレの新設工事を行った。		生活の質の向上や介護予防が図られた。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	住宅改善整備を行うことにより、居室から出ることが困難な方の生活範囲が広がるなど、生活の質の向上や介護予防が図られた。		高齢者の増加に伴い住宅改善を必要としている方の増加は予想される。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	住宅改善整備費補助事業(階段昇降機設置)				指標・目標値の説明(算定式)	補助金を交付した件数。事業の性質上、目標値は設定しない。					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		
	実績値・達成状況	13.00	—	10.00	—	6.00	—					
指標②	名称	住宅改善整備費補助事業(トイレ新設工事)				指標・目標値の説明(算定式)	補助金を交付した件数。事業の性質上、目標値は設定しない。					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		
	実績値・達成状況	1.00	—	2.00	—	3.00	—					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	2 目	6 細目	1 細々目	高齢者住宅改善整備費補助事業				
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
予算額(A)		3,000		3,600		3,600		2,600		2,600			
決算額(B)=(C)+(D)		2,800		2,400		1,800							
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0					
	一般財源(D)	2,800		2,400		1,800		2,600					
概算人件費(E)		1,155		1,185		1,215		1,245		1,245			
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.15	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00	0.15	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,955		3,585		3,015		3,845		3,845			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
52 /60	高齢者の増加に伴い住宅改善を必要としている方の増加は予想されるため、財源の確保が課題である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	高齢者住宅確保支援事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市高齢者入居保証支援事業実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	身元保証人を確保できない等の理由により、民間賃貸住宅への入居が困難な高齢者世帯に対して家賃保証料の一部を助成し、市内居住の継続に資することを目的とする。		身元保証人を確保できない等の理由により、高齢世帯が市内の民間賃貸住宅への入居が困難となるケースを生じさせないようにする。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	利用者なし。		実績なし。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	なし。		相談者はいたが申請には至らなかった。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	2 目	6 細目	2 細々目	高齢者住宅確保支援事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		50		50		50		50		50
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		0				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	0		0		0		50		
概算人件費(E)		770		790		810		830		830
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		770		790		810		880		880

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	9 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	7 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	低かった	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	7 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
36 /60	近年、利用者がいないため事業実施の見直しも含め検討していく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	成年後見制度利用促進事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7652	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	26	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	老人福祉法第32条の2、障害者総合支援法第77条5号、川口市成年後見制度利用支援事業実施要綱、川口市成年後見センター業務実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	判断能力が十分でない方が地域で安心して暮らすために、財産管理や介護サービス契約等について後見人等の援助を受けられるよう、成年後見人に関する取組みの充実を図り、制度の利用を促進する。		専門のセンターを設置することで、相談し易くなり、弁護士会等専門職の団体やNPO法人、家庭裁判所等関係機関との連携を図り、中核的な役割を担うことで、市民後見人が活動し易い体制が整備される。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・成年後見センターの運営 ・市長申立事務に係る親族に関する戸籍調査等委託		・成年後見センターを運営することで、制度の普及啓発、制度利用に関する相談や申立支援、市民後見人の養成や活動支援、関係機関等との連携を行った。 ・市長申立事務の一部(親族の戸籍調査)を委託することで、増加傾向にある市長申立事務を円滑に処理し、より多くの方を制度につなげることができた。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	今後、制度のニーズはますます増大することが見込まれることから、成年後見センターの設置により制度の利用を必要とする方が、相談しやすくなるとともに、同センターが中心となり、市民後見人が活躍しやすい体制を整備できた。		成年後見センターの相談件数は増加しているものの、第9期高齢者福祉・介護事業計画策定に係る実態調査によると、センターの認知度が低いと、周知方法について検討していく。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	相談件数(成年後見制度利用促進事業)				指標・目標値の説明(算定式)	成年後見センターへの相談件数。事業の性質上、目標値は設定しない。				
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	1,829.00	—	1,921.00	—	1,576.00	—				
指標②	名称	調査依頼件数				指標・目標値の説明(算定式)	戸籍調査依頼件数。事業の性質上、目標値は設定しない。				
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	16.00	—	9.00	—	10.00	—				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	2 目	7 細目	1 細々目	成年後見制度利用促進事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		24,438		24,859		25,464		27,369		27,369
決算額(B)=(C)+(D)		20,647		22,332		25,002				
財源※	特定財源(C)	986		1,047		791		1,214		
	一般財源(D)	19,661		21,285		24,211		26,155		
概算人件費(E)		5,390		5,530		5,670		5,810		5,810
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70
										0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		26,037		27,862		30,672		33,179		33,179

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	成年後見センターの相談件数が減少した理由として関係機関の制度への理解が進んだことがあげられるものの未だ認知度が低いのが実情であるため、様々な機会を捉え周知啓発を行っていく。また、国は成年後見センターを地域の中核機関として考え今後様々な施策を中核機関に依頼することが想定されるため、今後も財源の確保が課題である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	社会福祉センター指定管理者管理運営費				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市社会福祉センター設置及び管理条例、施行規則					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	社会福祉センターの運営を指定管理委託することにより、施設の効率的な運営を図る。		老人福祉法第20条の2の2に規定する「老人デイサービスセンター」を適正に運営する。社会奉仕活動団体等への活動場所を提供する。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・利用者への入浴や食事の提供、日常動作の訓練などを行い、心身機能の維持回復を図った。 ・介護している家族の負担を軽減した。 ・民間では受入困難とされるような利用者も含めて受け入れた。 ・社会福祉奉仕団体の活動の場を提供した。		老人デイサービスセンター(神根れんげそう) 延べ利用者 7,843人/年	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・利用者に目的とするサービス提供ができた。 ・社会福祉奉仕団体の活動の場として機能した。		効果的・効率的に施設運営ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	3 目	1 細目	2 細々目	社会福祉センター指定管理者管理運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		51,761		52,987		54,228		55,486		55,486
決算額(B)=(C)+(D)		51,761		52,987		54,228				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	51,761		52,987		54,228		55,486		
概算人件費(E)		770		790		810		830		830
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		52,531		53,777		55,038		56,316	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	委託期間が令和7年度末で満了(5年間)することから、事業に対する運営評価を行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	老人デイサービスセンター指定管理者管理運営費				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市老人デイサービスセンター設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	老人デイサービスセンターの運営を指定管理委託することにより、施設の効率的な運営を図る。		老人福祉法第20条の2の2に規定する「老人デイサービスセンター」を適正に運営する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・利用者への入浴や食事の提供、日常動作の訓練などを行い、心身機能の維持回復を図った。 ・介護している家族の負担を軽減した。 ・民間では受入困難とされるような利用者も含めて受け入れた。		延べ利用者 横曽根れんげそう 7,342人/年 新郷れんげそう 9,683人/年 芝れんげそう 7,810人/年 芝南れんげそう 1,003人/年 鳩ヶ谷れんげそう 5,634人/年		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・利用者に目的とするサービス提供ができた。		効果的・効率的に施設運営ができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	3 目	1 細目	3 細々目	老人デイサービスセンター指定管理者管理運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		113,921		118,114		122,357		126,664		126,664
決算額(B)=(C)+(D)		113,921		118,114		122,357				
財源※	特定財源(C)	1,197		1,045		1,080		1,080		
	一般財源(D)	112,724		117,069		121,277		125,584		
概算人件費(E)		770		790		810		830		830
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		114,691		118,904		123,167		127,494	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
50 ／60	老人デイサービスセンターにおける指定管理のあり方について、令和7年度末に一部の施設を廃止。また、令和8年度から一部の施設の業態変更を実施する。		翌年度	効率化して実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	養護老人ホーム指定管理者管理運営費				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市養護老人ホーム設置及び管理及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	養護老人ホームの運営を指定管理委託することにより、施設の効率的な運営を図る。		老人福祉法第20条の4に規定する「養護老人ホーム」を適正に運営する。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	概ね65歳以上で、家族環境、経済的な理由等により、居宅で生活することが困難な措置者を受け入れた。		年度末の入所者 22人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	利用者に目的とするサービス提供ができた。		効果的・効率的に施設運営ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	3 目	1 細目	4 細々目	養護老人ホーム指定管理者管理運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		131,600		132,804		133,478		134,160		134,160
決算額(B)=(C)+(D)		131,600		132,804		133,478				
財源※	特定財源(C)	58,834		49,010		46,267		42,877		
	一般財源(D)	72,766		83,794		87,211		91,283		
概算人件費(E)		770		790		810		830		830
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		132,370		133,594		134,288		134,990	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 ／60	委託期間が令和7年度末で満了(5年間)することから、事業に対する運営評価を行う。	翌年度	効率化して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	特別養護老人ホーム指定管理者管理運営費				担当	福祉部
						長寿支援課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市特別養護老人ホーム設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	特別養護老人ホームの運営を指定管理委託することにより、施設の効率的な運営を図る。	老人福祉法第20条の5に規定する「特別養護老人ホーム」を適正に運営する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	在宅で生活が困難な、原則要介護3から5の利用者を受け入れた。	年度末の入所者 100人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	利用者に目的とするサービス提供ができた。	効果的・効率的に施設運営ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値・達成状況							
指標②	名称		指標・目標値の 説明(算定式)					
	単位							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
	実績値・達成状況							

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		3 款	2 項	3 目	1 細目	5 細々目	特別養護老人ホーム指定管理者管理運営費			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			95,846		100,822		105,863		110,968		110,968		
決算額(B)=(C)+(D)			95,846		100,822		105,863						
財 源 ※	特定財源(C)		44		41		41		41				
	一般財源(D)		95,802		100,781		105,822		110,927				
概算人件費(E)			770		790		810		830		830		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
総事業費〔(A)又は(B)〕+(E)			96,616		101,612		106,673		111,798		111,798		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	川口市外郭団体あり方検討委員会の報告を踏まえて、施設の方向性を検討中である。	翌年度	効率化して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	軽費老人ホーム指定管理者管理運営費				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市軽費老人ホーム設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	軽費老人ホームの運営を指定管理委託することにより、施設の効率的な運営を図る。		老人福祉法第20条の6に規定する「軽費老人ホーム」を適正に運営する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	自炊ができない程度の身体機能の低下等の事情により、独立して生活するには不安があり、且つ家族による援助をうけることが困難な60歳以上の方を受け入れる。		年度末の入所者 41人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	利用者に目的とするサービス提供ができた。		効果的・効率的に施設運営ができた。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度	令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	3 目	1 細目	6 細々目	軽費老人ホーム指定管理者管理運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		72,198		73,707		74,469		75,241		75,241
決算額(B)=(C)+(D)		72,198		73,707		74,253				
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0		
	一般財源(D)	72,198		73,707		74,253		75,241		
概算人件費(E)		770		790		810		830		830
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)		72,968		74,497		75,063		76,071	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 ／60	委託期間が令和7年度末で満了(5年間)することから、事業に対する運営評価を行う。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	老人福祉センター指定管理者管理運営費				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市老人福祉センター設置及び管理条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	指定管理	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	老人福祉センターの運営を指定管理委託することにより、施設の効率的な運営を図る。		老人福祉法第20条の7に規定する「老人福祉センター」を適正に運営する。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	市内在住の60歳以上の高齢者に対して、各種の相談に応じるとともに、健康の増進・教養の向上、レクリエーションのための便宜を供する。		延べ利用者 安行たたら荘 13,739人/年 神根たたら荘 23,300人/年 芝たたら荘 21,589人/年 新郷たたら荘 8,402人/年 仲町たたら荘 6,505人/年 青木たたら荘 12,839人/年		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	利用者に目的とするサービス提供ができた。		効果的・効率的に施設運営ができた。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	3 目	1 細目	7 細々目	老人福祉センター指定管理者管理運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		103,499		111,351		111,411		111,472		111,472
決算額(B)=(C)+(D)		103,499		111,351		111,411				
財源※	特定財源(C)	105		107		91		91		
	一般財源(D)	103,394		111,244		111,320		111,381		
概算人件費(E)		770		790		810		830		830
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)			104,269		112,141		112,221		112,302 112,302

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 ／60	老朽化している建物は設備の老朽化も著しく、今後の修繕や大規模工事のなどを計画的に実施する必要がある。また、今後の施設運営方針についても検討が必要。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	特別養護老人ホーム等整備促進事業				担当	福祉部	
						介護保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7293	新規・継続	新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	6	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-① 高齢者福祉の充実					
根拠法令等	川口市特別養護老人ホーム等整備事業費補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	特別養護老人ホームを整備する法人に対し、その整備に必要な資金の一部を補助することにより、特別養護老人ホームの基盤整備を促進し、高齢者の福祉の向上と地域における福祉の発展に寄与する。		特別養護老人ホームを整備する法人に対し、その整備に必要な資金の一部を補助し、特別養護老人ホームの基盤整備を促進する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	特別養護老人ホームの整備(大規模修繕)に必要な工事等の一部を補助した。		106床を有する市内特別養護老人ホーム1施設の大規模修繕費用の一部を補助した。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・老朽化していた施設の一部が修繕され耐用年数が延長 ・利用者に対する安定かつ継続的なサービス提供が実現		市内特別養護老人ホームに対する待機者調査の結果を踏まえ、令和6年度から8年度を計画期間とする第9期計画において、これ以上の床数は必要でないと方針を立てている。このため、新たな施設は整備せず、既存施設の修繕により床数が減少してしまうことがないよう補助を実施していく。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	特別養護老人ホーム等整備促進事業事業所数				指標・目標値の説明(算定式)	補助を実施する事業所数					
	単位	施設	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		—		—		1.00		1.00		1.00		
	実績値・達成状況		—	—	—	—	1.00	達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		3 款	2 項	1 目	21 細目	1 細々目	特別養護老人ホーム等整備促進事業			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			0		0		79,468		30,000		120,000		
決算額(B)=(C)+(D)			0		0		78,602						
財 源 ※	特定財源(C)		0		0		0		0				
	一般財源(D)		0		0		78,602		30,000				
概算人件費(E)			0		0		1,620		1,660		1,660		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			0		0		80,222		31,660		121,660		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
54 ／60	大規模修繕にかかる費用の補助について、令和6年度までは1床あたり100万円という補助単価であったが、費用の削減と平準化を図るため、令和7年度からは1施設あたり3,000万円を上限とした。今後は市内特別養護老人ホームの修繕需要や老朽具合も考慮して方針を定めていく必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	介護予防把握事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	271-9745	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	要支援状態又は要介護状態になる恐れのある虚弱高齢者を把握し、生活機能の維持又は向上を図り、健康で生き生きとした生活を営むことができるよう支援することを目的とする。	要支援状態及び要介護状態の高齢者数の減少による、介護給付費の減少。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	対象者の誕生月ごとに基本チェックリスト(生活機能評価)を郵送し、チェックの結果、一定の点数を超えて生活機能の低下に該当している場合、市に返信してもらい、該当する者を介護予防事業へ参加を促した。同時に、該当者情報を地域包括支援センターへ提供した。	配付人数:115,275人 返信数:4,302件 該当者数:2,815人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	介護予防事業(サービス・活動事業、健康アップ教室、口腔教室など)への参加を促し、介護予防ケアマネジメントにつながった。	生活機能低下者のみが返信することになっており、返信がない者が元気高齢者であると明確に判断ができない。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	虚弱高齢者把握数				指標・目標値の説明(算定式)	基本チェックリストの回収により対象者を把握。前年度との比較。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		3,272.00		3,352.00		2,938.00		2,815.00		2,815.00		
実績値・達成状況	3,352.00	達成	2,938.00	未達成	2,815.00	未達成						
指標②	名称	介護予防事業への参加者数				指標・目標値の説明(算定式)	健康運動教室、健康アップ教室、口腔教室への参加につながった人数。前年度との比較。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		673.00		769.00		947.00		1,054.00		1,054.00		
実績値・達成状況	769.00	達成	947.00	達成	1,054.00	達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 2 項 1 目 1 細目 1 細々目 介護予防把握事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		17,696		17,484		17,533		21,609		21,609	
決算額(B)=(C)+(D)		15,192		14,492		16,761					
財源※	特定財源(C)	13,293		12,681		14,666		18,908			
	一般財源(D)	1,899		1,811		2,095		2,701			
概算人件費(E)		4,004		4,108		5,427		5,561		5,561	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.52	0.00	0.52	0.00	0.67	0.00	0.67	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	19,196		18,600		22,188		27,170		27,170	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 ／60	基本チェックリスト配付対象者の見直しなどの適正化	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	介護予防普及啓発事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-271-9745	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	運動器の機能、口腔機能の向上を中心とした教室を提供することにより、生活機能の維持向上を図るとともに、団体・企業等の介護予防となり得る教室や活動への参加費助成(介護予防ギフトボックス事業)を行う。		生活機能の維持向上による高齢者の生きがいづくりや健康づくり、社会参加の促進。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・市内を4つの地域に分け、年4期間(4～6月、7～9月、10～12月、1～3月)において健康アップ教室、口腔教室を実施した。また、市内11ヶ所において、生き生きデイサービスを実施した。 ・団体・企業等の教室や活動への参加費を、一人1教室につき上限1,500円/1月(最長3か月)の助成を行った。		・健康アップ教室 43教室、参加者372人 口腔教室 21教室、参加者139人 生き生きデイサービス 526回、参加者8,642人 ・介護予防ギフトボックス事業 133教室 31事業者 参加者237人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・口腔教室参加者のうち、129人が維持改善された。 ・介護予防ギフトボックス事業による助成の後、190人が継続して活動に参加した。		介護予防教室の終了後も、地域において介護予防活動を継続できるよう支援する仕組みづくりを進める必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	運動教室(健康アップ教室)事業				指標・目標値の説明(算定式)	1会場20名定員×11会場×4期×70%								
	単位	人		指標の種別	結果										
	目標値	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度	
		366.00			616.00			616.00			616.00			616.00	
実績値・達成状況	323.00		未達成	354.00		未達成	372.00		未達成						
指標②	名称	介護予防ギフトボックス事業参加者				指標・目標値の説明(算定式)	定員の30%								
	単位	人		指標の種別	結果										
	目標値	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度	
		695.00			600.00			432.00			432.00			432.00	
	実績値・達成状況	314.00		未達成	340.00		未達成	237.00		未達成					

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計		3 款	2 項	1 目	2 細目	1 細々目	介護予防普及啓発事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		46,797				46,863		48,282		46,606	
決算額(B)=(C)+(D)		41,083				40,577		40,899			
財 源 ※	特定財源(C)	35,948				35,505		35,787		40,781	
	一般財源(D)	5,135				5,072		5,112		5,825	
概算人件費(E)		10,087				10,349		8,505		8,715	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	1.31	0.00	1.31	0.00	1.05	0.00	0.91	0.00	0.91
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		51,170				50,926		49,404		55,321	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 ／60	介護予防ギフトボックス事業は参加者が伸び悩んでおり、教室拡充や参加者への周知方法を検討する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	在宅医療・介護連携推進事業				担当	福祉部
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-271-9745	新規・継続	継続
					長寿支援課	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	27	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が増加することを踏まえ、医療・介護を効率的、効果的に提供する体制の構築を推進するため、医療・介護関係者及び地域住民に継続的に取組を行う。	医療と介護の両方を必要とする高齢者が、在宅医療と介護サービスが一体的に提供され、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる。また、在宅医療が必要の際、必要なサービスを適切に選択できる。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	①地域包括ケア連絡協議会幹事会 ②多職種連携の会・在宅医療講演会の開催 ③医療介護連携ICTシステムの普及 ④在宅医療連携拠点の運営(相談支援、医療・介護関係者への研修等) ⑤ACP出前講座	①開催回数:4回 ②開催回数:各1回、参加者数:多職種連携の会(医療・介護関係者)94名、在宅医療講演会(市民向け)87名 ③MCS登録者数:1641人 ④相談件数:117件、研修開催回数:2回、参加者計75名 ⑤開催回数:6回、参加者計143名	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	川口市地域包括ケア連絡協議会幹事会の定期開催により、在宅医療・介護連携の推進に關しての課題、取り組みを検討、共有した。在宅医療・介護関係者への研修の開催により専門分野を活かした意見交換や情報共有が行われ他分野の専門性の機能や理解を深めた。市民講座の開催により、地域住民の在宅医療、介護に対する理解を深めた。	川口市地域包括ケア連絡協議会幹事会でのICT等課題、取り組みの検討、共有を継続的に図る必要がある。在宅医療連携拠点での在宅療養患者の相談支援の利用促進や医療・介護関係者への連携支援を継続的に図る必要がある。地域住民に対する普及啓発を継続的に図る必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	医療介護連携ICTシステム利用者数				指標・目標値の説明(算定式)	川口市医師会管内のICTシステム利用者数。前年度との比較。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		1,144.00		1,311.00		1,456.00		1,456.00		1,456.00		
実績値・達成状況	1,311.00	達成	1,456.00	達成	1,641.00	達成						
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計		3 款	3 項	2 目	1 細目	1 細々目	在宅医療・介護連携推進事業			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		15,263		15,263		15,589		15,439		15,439		
決算額(B)=(C)+(D)		11,905		11,548		11,703						
財 源 ※	特定財源(C)	9,613		9,325		9,451		12,467				
	一般財源(D)	2,292		2,223		2,252		2,972				
概算人件費(E)		2,926		3,002		6,723		6,889		6,889		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.38	0.00	0.38	0.00	0.83	0.00	0.53	0.00	0.53	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)		14,831		14,550		18,426		22,328		22,328		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 ／60	在宅医療連携拠点の機能強化による効果的な活用促進	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	認知症総合支援事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-271-9745	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	28	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	全部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の実情に応じて認知症の人やその家族を支援できる体制を構築し、認知症ケアの向上を図る。	高齢者が認知症になっても、住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるよう、早期発見、早期診断への支援に繋げる。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	①認知症初期集中支援事業の実施(チーム員会議の開催、事例研究、支援の実施) ②認知症ケアパスの作成 ③認知症の相談支援	①相談受件数(新規):53件、介入件数:48件、支援者数(実人数):67件、訪問延べ件数:363件 ②10,000部 ③16,809件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	認知症初期集中支援チームと地域包括支援センターが連携を取り、医療・介護サービス等速やかに繋いでいる。地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員が中心となり、相談者にケアパスを活用して相談支援をしている。また、認知症サポーター養成講座の中で、ケアパスの説明をして認知症サポーターに配布している。	認知症初期集中支援チーム(2チーム設置)において、最終的に医療・介護サービスに繋がった人の割合にチームで差がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	認知症相談件数				指標・目標値の説明(算定式)	件数の増減が成果指標に繋がるとは考えていないことから、目標値は設定しないもの。				
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	16,709.00	—	16,549.00	—	16,809.00	—				
指標②	名称	認知症初期集中支援件数				指標・目標値の説明(算定式)	支援対象者の状態像による件数の増減が成果指標に繋がるとは考えていないことから、目標値は設定しないもの。				
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	30.00	—	44.00	—	53.00	—				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 3 項 3 目 1 細目 1 細々目 認知症総合支援事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		49,803		54,566		54,905		55,402		55,402	
決算額(B)=(C)+(D)		49,037		54,341		54,495					
財源※	特定財源(C)	39,598		43,880		44,005		44,737			
	一般財源(D)	9,439		10,461		10,490		10,665			
概算人件費(E)		7,392		7,584		5,103		4,399		4,399	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.96	0.00	0.96	0.00	0.63	0.00	0.53	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		56,429		61,925		59,598		59,801		59,801	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	認知症初期集中支援チームの機能強化による活用促進、地域包括支援センター(認知症地域支援推進員)との連携強化を継続的に図る。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	地域ケア会議推進事業				担当	福祉部
						長寿支援課
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	271-9745	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	28	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の48					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	高齢者支援の充実とそれを支える社会基盤整備のため、医療・介護等の多職種が協働し、高齢者の個別課題の解決を図ると共に、個別ケースの課題分析等から地域課題を把握し、必要な資源開発や地域づくりに繋げる。		地域ケア会議により、高齢者への適切なケアマネジメントが実施され、高齢者の生活の質が向上するとともに、地域課題の抽出と多職種連携による課題解決が図られることにより、住みやすい地域づくりがされている。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	①地域ケア個別会議 ②自立支援型地域ケア会議 ③ネットワーク会議(地域ケア推進会議)		①開催回数:110回 ②開催回数:20回 ③開催回数:74回		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	多職種が協働し支援内容の検討を行い、介護支援専門員のケアマネジメント支援を通じ高齢者への支援を行った。個別ケースの支援内容の検討を積み重ね、把握した地域課題などについて地域の人々と共有・検討しながら、地域づくり、地域の資源開発等につなげていくための検討を行った。		医療・介護の多職種や地域関係者を交え、個別事例の検討において、課題分析やケアマネジメント支援の積み重ねを通じ、地域の共通した課題や有効な支援策を明らかにする。また、生活支援体制整備事業等と連携を図り、多職種協働によるネットワークの構築や地域に不足する資源の開発等に取り組み、高齢者支援の充実と社会基盤整備を推進している。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域ケア個別会議開催件数				指標・目標値の説明(算定式)	件数の増減が成果指標に繋がるとは考えていないことから、目標値は設定しないもの。				
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	108.00	－	129.00	－	110.00	－				

指標②	名称	ネットワーク会議開催件数				指標・目標値の説明(算定式)	件数の増減が成果指標に繋がるとは考えていないことから、目標値は設定しないもの。				
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	60.00	－	79.00	－	74.00	－				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 3 項 4 目 1 細目 1 細々目 地域ケア会議推進事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		26,440		26,440		26,440		26,440		26,440	
決算額(B)=(C)+(D)		26,370		26,400		26,360					
財源※	特定財源(C)	21,293		21,318		21,286		21,350			
	一般財源(D)	5,077		5,082		5,074		5,090			
概算人件費(E)		1,001		1,027		4,131		4,316		4,316	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.13	0.00	0.13	0.00	0.52	0.00	0.47	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		27,371		27,427		30,491		30,756		30,756	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 ／60	地域課題をより具体化し、課題解決に向けて地域づくり等につなげられるよう、地域ケア会議の機能の充実を図る。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	総合相談事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-271-9745	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活を継続することが出来るようにするため、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行う。		高齢者が、住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるようになる。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	地域包括支援センターにて、高齢者本人や家族、近隣住民、地域ネットワーク等を通じた様々な対応を行った。		総合相談実績:128,140件		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	高齢者が、住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるようになった。		重層的支援体制整備事業の本格実施に伴い、多様化、複雑化するニーズに適切に対応できるよう、機能や体制の強化を図っていく。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	相談対応件数				指標・目標値の説明(算定式)	件数の増減が成果指標に繋がるとは考えていないことから、目標値は設定しないもの。				
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	119,870.00	－	120,428.00	－	128,140.00	－				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 3 項 52 目 1 細目 1 細々目 総合相談事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		374,505		379,505		380,055		379,505		379,505	
決算額(B)=(C)+(D)		341,790		352,517		367,522					
財源※	特定財源(C)	275,996		284,658		296,774		306,450			
	一般財源(D)	65,794		67,859		70,748		73,055			
概算人件費(E)		4,004		4,108		4,698		3,320		3,320	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.52	0.00	0.52	0.00	0.58	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		345,794		356,625		372,220		382,825		382,825	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	複合化、複雑化した課題を抱える世帯の相談が増加していることから、他機関との横断的な連携が必要。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	生活支援体制整備事業				担当	福祉部 長寿支援課	
事業区分	主要事業	政策宣言	問い合わせ先	048-271-9745	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	28	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	地域の高齢者に、住み慣れた地域で安心して生活を継続することができるようにする。		地域住民や多様な主体と連携して日常生活上の支援体制を充実させ、同時に高齢者が生活支援の担い手としての社会参加し、生きがいづくりにつなげる。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	①地域資源データベースシステム「川口市高齢者サービス情報サイト かわぐち元気ナビ」の運用 ②生活支援コーディネーターの配置 ③協議体の開催		①かわぐち元気ナビ月平均ページビュー数 9,639件/月 ②配置人数 第1層:1人、第2層:20人 ③開催数 第1層:5回、第2層:80回		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	かわぐち元気ナビで収集した生活支援サービスの情報を必要とする高齢者等に発信した。 生活支援コーディネーターにより、地域のニーズと資源のマッチングを行った。 協議体を開催し、地域の情報や課題を話し合い、共有した。		かわぐち元気ナビの掲載内容の充実や使いやすさなど、利便性の向上を図る。 協議体の開催内容の充実や地域高齢者のより積極的な社会参加を促進していく。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	集いの場の把握			指標・目標値の説明(算定式)	件数の増減が成果指標に繋がるとは考えていないことから、目標値は設定しないもの。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし
	実績値・達成状況	566.00	—	578.00	—	609.00	—			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計		3 款	3 項	55 目	1 細目	1 細々目	生活支援体制整備事業				
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
予算額(A)		92,999		92,999		92,999		92,999		92,999			
決算額(B)=(C)+(D)		92,818		92,818		92,845							
財 源 ※	特定財源(C)		74,950		74,950		74,972		75,097				
	一般財源(D)		17,868		17,868		17,873		17,902				
概算人件費(E)		3,542		3,634		7,128		7,304		7,304			
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.46	0.00	0.46	0.00	0.88	0.00	0.96	0.00	0.96	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		96,360		96,452		99,973		100,303		100,303			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 ／60	引き続き、地域資源データベースシステム「かわぐち元気ナビ」の内容拡充および市民周知を行い、事業での活用を図っていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	介護予防・生活支援サービス事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9745	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	29	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	要支援・要介護状態になるおそれのある虚弱高齢者に対し、生活意欲向上や生活活動、運動器の改善・機能向上を中心としたサービスを提供し、健康で生き生きとした生活を営む支援を目的とする。		要支援・要介護認定に至らない高齢者の増加		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・訪問型介護予防事業:リハビリテーションの専門職等が、対象者1名につき原則週1回、計10回(3ヶ月程度)居宅等を訪問し、機能訓練等を実施。 ・通所介護予防事業:市内を4つの地域に分け、年4期間(4～6月、7～9月、10～12月、1～3月)において健康運動教室を実施。		・訪問型介護予防事業:延べ利用者14人、訪問回数119回 ・通所型介護予防事業:44教室、参加者543人		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	基本チェックリストや主観的健康観の改善がみられる等、生活機能の維持・向上に一定の効果が見られた。		・事業自体の評価方法の検討を進める必要がある。 ・住民主体サービスの検討を含め、多様なサービスの充実を図り、引き続き重度化を防止するための仕組みづくりを進める必要がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	通所型介護予防事業参加者			指標・目標値の説明(算定式)	1会場20名定員×11会場×4期×80%			
	単位	人	指標の種別	結果					
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		340.00		704.00		704.00		704.00	
	実績値・達成状況	335.00	未達成	445.00	未達成	543.00	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 1 項 1 目 1 細目 1 細々目 介護予防・生活支援サービス事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		33,244		33,244		32,927		33,203		33,203	
決算額(B)=(C)+(D)		31,469		30,959		27,640					
財源※	特定財源(C)	27,536		27,090		24,185		29,053			
	一般財源(D)	3,933		3,869		3,455		4,150			
概算人件費(E)		693		711		3,564		3,652		3,652	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.09	0.00	0.09	0.00	0.44	0.00	0.71	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		32,162		31,670		31,204		36,855		36,855	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	参加者増加のための方策検討	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	介護予防ケアマネジメント事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9745	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活していくために、介護予防ケアマネジメントに係る地域包括支援センターや介護支援専門員等が、本人の主体的な活動と参加意欲の向上を高められるように支援を行う。	地域の高齢者が、住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できている。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	介護予防ケアマネジメントの更なる内容改善のための検討の実施。	・介護予防ケアマネジメントについて、地域包括支援センターからの相談対応。 ・介護予防ケアマネジメントマニュアルの次年度改訂に向けた検討。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	高齢者に対し、高齢者の自立保持のための身体的・精神的・社会的機能の維持向上を目標とする、介護予防ケアマネジメントが適切に行われた。	介護予防・日常生活支援総合事業の実施に伴う、介護予防ケアマネジメントが煩雑とならないよう、また、介護予防ケアマネジメントに関わる全ての関係者が同じ認識のもと利用者にフォーマル、インフォーマルサービス等の提供ができることを目的に、その指標となるマニュアルを定期的に見直し、必要に応じて改訂していく。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								
指標②	名称		指標・目標値の説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 1 項 2 目 1 細目 1 細々目 介護予防ケアマネジメント事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		36		36		32		36		36	
決算額(B)=(C)+(D)		0		0		0					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		32			
	一般財源(D)	0		0		0		4			
概算人件費(E)		4,004		4,108		1,458		1,494		1,494	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.52	0.00	0.52	0.00	0.18	0.00	0.33	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		4,004		4,108		1,458		1,530		1,530	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	ケアマネジメントマニュアルの定期的な見直し及び介護支援専門員への周知。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	地域介護予防活動支援事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9745	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	高齢者人口増加に伴い、介護予防に関するボランティア等の活動に参加できる40歳以上の市民を対象に、高齢者の生きがいづくりや健康づくり、社会参加を促進するための指導者養成及び介護支援ボランティア事業を実施		介護予防のための個人々の取組を、日々の生活として定着させるとともに、介護予防に関する知識の普及及び啓発や地域における自主的な介護予防に資する活動の育成及び支援を 実施することを目的とする。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・高齢者元気づくり推進リーダー養成講座 ・介護支援ボランティア(地域包括支援センターと共に活動) ・認定ヘルパー養成研修		・高齢者元気づくり推進リーダー養成講座 2講座開講 リーダー養成数24名 ・介護支援ボランティア 登録者数23名 ・認定ヘルパー養成研修 参加者数12名 修了証交付人数11名	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	ボランティアに参加することで、推進リーダー(高齢者)が介護予防に資する自主的な活動に積極的に参加し、介護予防に向けた取組が推進された。 認定ヘルパー養成研修では介護予防・日常生活支援総合事業における生活支援サービスを提供するための担い手として、市内の事業所と就労マッチングができた。		介護支援ボランティア登録者数は増えてきているが、地区によっては登録者がいない地区があるため、市全体でボランティアを養成していく必要がある。認定ヘルパーが就労できる事業所を増やしていく必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	高齢者元気づくり推進リーダー養成講座受講者				指標・目標値の説明(算定式)	15人×2回開催				
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		30.00		30.00		30.00		30.00		30.00	
実績値・達成状況		37.00	達成	51.00	達成	24.00	未達成				
指標②	名称	介護支援ボランティア登録数				指標・目標値の説明(算定式)	前年度登録数×110%				
	単位	人	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		173.00		196.00		244.00		268.00		268.00	
実績値・達成状況		179.00	未達成	222.00	達成	242.00	未達成				

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 2 項 1 目 3 細目 1 細々目 地域介護予防活動支援事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		1,640		1,789		2,023		2,101		2,101	
決算額(B)=(C)+(D)		813		1,235		1,478					
財源※	特定財源(C)	712		1,081		1,294		1,839			
	一般財源(D)	101		154		184		262			
概算人件費(E)		3,696		3,792		4,779		4,897		4,897	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.48	0.00	0.48	0.00	0.59	0.00	0.99	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		4,509		5,027		6,257		6,998		6,998	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
52 /60	地区によって活動団体数に偏りがあるため、全市的な活動となるように働きかけが必要がある。 講座の募集方法や実施方法についても引き続き検討が必要である。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	地域リハビリテーション活動支援事業				担当	福祉部
						長寿支援課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	271-9745	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	4	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	住民主体の通いの場等へのリハビリテーション専門職等を派遣し、高齢者へ介護予防に関する技術的助言等を行う。		高齢者が、自ら介護予防に資する活動を継続的に取り組むことにより、活動的で生きがいを持って生活できるようになる。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	・介護予防サポーター養成講座 ・自主グループ新規立ち上げ支援 ・自主グループ継続支援		・介護予防サポーター養成講座 派遣専門職数48名 ・自主グループ新規立ち上げ支援 派遣専門職数114名 ・自主グループ継続支援 派遣専門職数39名		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	介護予防等に係る活動を行っている住民主体の通いの場へのリハビリテーション専門職の関与が促進され、正確な動きの確認や参加者のモチベーションが保たれ、地域における介護予防、高齢者の自立支援に資する取り組みがより推進された。		令和4年度の事業開始以降、増加していた自主団体の新規立ち上げ数が、徐々に減少傾向にある。今後は立ち上がった団体が活動を続けていけるよう継続支援の積極的な活用に向けた声掛けや、各地域包括支援センターとの連携を含めた団体への活動支援を検討していく。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	介護予防サポーター養成者数			指標・目標値の説明(算定式)	開催回数×20人				
	単位	人	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	60.00		40.00		60.00		60.00		60.00
指標②	名称	新規立ち上げ支援回数			指標・目標値の説明(算定式)	養成講座参加包括×1回				
	単位	回	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	8.00		8.00		9.00		9.00		9.00
	名称	新規立ち上げ支援回数			指標・目標値の説明(算定式)	養成講座参加包括×1回				
	単位	回	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況	3.00	未達成	19.00	達成	13.00	達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 2 項 1 目 4 細目 1 細々目 地域リハビリテーション活動支援事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		800		1,520		2,180		2,580		2,580	
決算額(B)=(C)+(D)		800		1,470		2,010					
財源※	特定財源(C)	700		1,287		1,759		2,258			
	一般財源(D)	100		183		251		322			
概算人件費(E)		4,004		4,108		3,564		3,652		3,652	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.52	0.00	0.52	0.00	0.44	0.00	0.69	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		4,804		5,578		5,574		6,232		6,232	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
52 ／60	地区によって活動団体数に偏りがあるため、介護予防サポーター養成講座の開催場所の検討や、包括の声掛け等、全市的な活動となるよう働きかける必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	家族介護継続支援事業				担当	福祉部
						長寿支援課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7652	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	川口市ねたきり高齢者等紙おむつ支給事業実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	おむつを支給することで、経済的精神的な負担の軽減、生活の質の向上を図る。		高齢者本人や家族の経済的、精神的負担を軽減し、在宅で安心して生活を送ること。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	43種類のおむつの中から1種類を選択してもらい、業者が月に1回おむつを配送した。		在宅での生活を維持、継続することができた。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	生活する上での経済的、精神的な負担軽減、清潔な暮らしの確保により、在宅での生活を維持、継続することができた。		任意事業としての介護用品支給事業の廃止・縮小および利用料の支払い方法について検討する。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	おむつ支給件数				指標・目標値の説明(算定式)	配送した件数。事業の性質上、目標値は設定しない。				
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	22,564.00	—	21,400.00	—	20,845.00	—				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 3 項 1 目 2 細目 1 細々目 家族介護継続支援事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		48,782		49,398		56,269		49,370		49,370	
決算額(B)=(C)+(D)		39,809		40,144		45,759					
財源※	特定財源(C)	32,146		32,416		36,950		39,866			
	一般財源(D)	7,663		7,728		8,809		9,504			
概算人件費(E)		3,850		3,950		4,050		4,150		4,150	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	43,659		44,094		49,809		53,520		53,520	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 ／60	任意事業としての介護用品支給事業の廃止・縮小が必要であるため、支給基準の検討や財源確保が課題である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	認知症高齢者見守り事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	259-7652	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	2	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	川口市日常生活用具給付事業実施要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	QRコード付き見守りシールを支給することで、徘徊した高齢者の早期発見、事故の未然防止に加え、家族の身体的、精神的負担を軽減し、福祉の増進を図る。		徘徊高齢者の早期発見・事故防止が図られ、家族の身体的、精神的負担が軽減される。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	QRコード付き見守りシールの給付をした。		QRコード付き見守りシールを給付することで高齢者の早期発見につながった。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	徘徊のおそれのある高齢者の安全確保と家族の身体的、精神的負担を軽減できた。		前年度利用者が継続利用しており、有効性があると評価できる。利用者拡大のため引き続き周知を行っていく。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	QRコード付き見守りシール支給件数				指標・目標値の説明(算定式)	給付した件数。事業の性質上、目標値は設定しない。					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		
	実績値・達成状況	7.00	—	11.00	—	7.00	—					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 3 項 1 目 2 細目 2 細々目 認知症高齢者見守り事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		139		133		104		98		98	
決算額(B)=(C)+(D)		10		15		10					
財源※	特定財源(C)	8		12		8		79			
	一般財源(D)	2		3		2		19			
概算人件費(E)		2,310		2,370		2,430		2,490		2,490	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,320		2,385		2,440		2,588		2,588	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 ／60	利用者が増えていくことが見込まれるため、財源の確保が課題である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	成年後見制度利用支援事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7652	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	老人福祉法第32条の2、障害者総合支援法第77条5号、川口市成年後見制度利用支援事業実施要綱、川口市成年後見人等の報酬助成要領					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	高齢者の権利擁護		高齢者の権利を擁護し、本人の財産状況から申立費用や、後見人報酬等を負担することが困難な場合において市が助成することで、成年後見制度の利用促進を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	裁判所に対し後見等の審判を申立てる。また、裁判所が選任した後見人等の報酬を助成する。		高齢者の権利擁護が図られ成年後見制度の利用促進につながった。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	高齢者の権利擁護が図られた。また、本人の財産状況から申立費用や後見人報酬等を負担することが困難な場合において、市が助成することで、成年後見制度の利用促進につながっている。		市長申立の状況となる親族と疎遠で、判断能力が不十分な認知症高齢者が年々増加している。必要な人に行き届くように制度の普及・啓発を行う。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	成年後見制度申立件数				指標・目標値の説明(算定式)	事業の性質上、目標値は設定しない。				
	単位	件	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし	
	実績値・達成状況	37.00	－	25.00	－	14.00	－				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 3 項 1 目 3 細目 1 細々目 成年後見制度利用支援事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		26,832		26,784		26,486		29,278		29,278	
決算額(B)=(C)+(D)		15,657		15,418		19,807					
財源※	特定財源(C)	12,657		12,451		15,995		23,642			
	一般財源(D)	3,000		2,967		3,812		5,636			
概算人件費(E)		5,390		5,530		5,670		5,810		5,810	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00	0.70	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,047		20,948		25,477		35,088		35,088	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 ／60	市長申立の該当となる親族と疎遠で、判断能力が不十分な認知症高齢者が年々増加しているため、財源の確保が課題である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	認知症サポーター等養成事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9745	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	3	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーター等を養成することにより、認知症の人や家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進する。		高齢者が、認知症になっても住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することが出来る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	①認知症サポーター養成講座 ②認知症サポーターステップアップ講座		①累計者数:32,506人、開催回数:68回、受講者数:2,393人 (うち小中学校向け認知症サポーター養成講座の実績) 開催校数:12校、受講生数:1,294人 ②開催回数:16回、受講者数:307人、ボランティア数:79人	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族を見守る応援者となっている。		認知症サポーター養成講座は、職域や小中学校向けの開催回数が増加している。また、認知症サポーターステップアップ講座はチームオレンジの設置に向けて受講必須になっているが、各地域包括支援センターにおいて開催しているところが数か所となっている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	認知症サポーター養成数(延べ人数)				指標・目標値の説明(算定式)	養成のみに留まらず認知症の人やその家族が安心して暮らし続けられる地域づくりを目指していることから、目標値は設定しないもの。					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		
	実績値・達成状況	27,489.00	—	29,932.00	—	32,506.00	—					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 3 項 1 目 3 細目 3 細々目 認知症サポーター等養成事業										
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		337		337		337		366		366		
決算額(B)=(C)+(D)		172		135		154						
財源※	特定財源(C)	139		109		124		295				
	一般財源(D)	33		26		30		71				
概算人件費(E)		4,158		4,266		5,589		4,482		4,482		
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.54	0.00	0.54	0.00	0.69	0.00	0.54	0.00	0.54 0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		4,330		4,401		5,743		4,848		4,848		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 ／60	職域、小中学校への認知症サポーター養成講座の開催やチームオレンジの立ち上げに向けた認知症サポーターステップアップ講座の拡充。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	権利擁護事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9745	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	高齢者の権利擁護を図るため、どのような支援が必要かを把握し、地域における適切なサービス、機関又は制度の利用に繋げる等の支援を行う。		高齢者が、住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるようになる。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	①成年後見制度の利用支援及び普及啓発 ②高齢者への虐待等の実態把握、関係団体との連絡調整		①成年後見制度相談実績(新規:255件、延べ相談:1,635件) ②高齢者虐待対応実績(新規:344件、延べ相談:1,254件)		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	高齢者が、住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することが出来るようになった。		①成年後見制度のより一層の利用促進を図る。 ②高齢者虐待を未然に防止するとともに、早期発見・早期対応が行えるよう、地域での見守り体制構築に向けた関係機関との連携を強化する。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	高齢者虐待対応件数			指標・目標値の説明(算定式)	件数の増減が成果指標に繋がるとは考えていないことから、目標値は設定しないもの。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし
	実績値・達成状況	264.00	—	255.00	—	344.00	—			
指標②	名称	成年後見制度対応件数			指標・目標値の説明(算定式)	件数の増減が成果指標に繋がるとは考えていないことから、目標値は設定しないもの。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし		設定なし
	実績値・達成状況	226.00	—	195.00	—	255.00	—			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 3 項 53 目 1 細目 1 細々目 権利擁護事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		60,000		60,000		60,000		60,000		60,000	
決算額(B)=(C)+(D)		60,000		60,000		60,000					
財源※	特定財源(C)	48,450		48,450		48,450		48,450			
	一般財源(D)	11,550		11,550		11,550		11,550			
概算人件費(E)		4,004		4,108		4,698		3,320		3,320	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.52	0.00	0.52	0.00	0.58	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		64,004		64,108		64,698		63,320		63,320	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
56 ／60	相談対応件数が増加する中で、地域包括支援センターの支援体制について検討する必要がある。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-271-9745	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	18	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	全部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心して生活を継続することができるようにするため、主治医、ケアマネジャー等との多職種協働と、地域関係機関との連携により、包括的・継続的なケアマネジメントを実現する。	高齢者が、住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるようになる。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	①地域の高齢者に対する専門的見地からの指導・助言 ②地域における、医療機関等の関係機関との連携体制の構築、及びケアマネジャーのネットワークの形成	包括的・継続的ケアマネジメント相談実績:2,214件 ケアマネジャー会議開催件数:41回	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	高齢者が、住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるようになった。	介護予防ケアマネジメントが複雑化しているため、各地域包括支援センターへの研修等スキルアップを図ることが必要である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ケアマネジャー相談件数			指標・目標値の説明(算定式)	件数の増減が成果指標に繋がるとは考えていないことから、目標値は設定しないもの。				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
		設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし				
	実績値・達成状況	2,790.00	—	2,278.00	—	2,214.00	—			
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 3 項 54 目 1 細目 1 細々目 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		100,000		100,000		100,000		100,000		100,000	
決算額(B)=(C)+(D)		100,000		100,000		100,000					
財源※	特定財源(C)	80,750		80,750		80,750		80,750			
	一般財源(D)	19,250		19,250		19,250		19,250			
概算人件費(E)		3,927		4,029		4,698		3,320		3,320	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.51	0.00	0.51	0.00	0.58	0.00	0.40	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		103,927		104,029		104,698		103,320		103,320	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	介護予防ケアマネジメントが複雑化しているため、各地域包括支援センターへの研修等スキルアップを図ることが必要である。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	介護保険事業者育成事業				担当	福祉部	
						介護保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 10191	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	2	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市内介護サービス事業所に対し、新たな介護人材の確保・定着・質の向上に関する支援を行うことで、介護事業所の継続的な事業運営を推進していく。		高齢化が急速に進む中、介護人材の需要は増加が見込まれているため、多様な人材の確保及び既存の介護職員の定着支援により介護サービスの安定的な供給を目指す。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	介護人材確保:介護に興味がある方や介護業界での就労意欲のある方を対象に、未経験でも参加可能な研修を実施した。(入門的研修) 定着・質の向上:専門家による介護事業所相談支援事業、市内事業所に勤務する介護職員の受験料・研修費の助成、外国人職員のための研修費用の助成を行った。		入門的研修では、申込人数52名、参加者数36名(昨対比211%)と前年を大幅に超える成果を達成した。 人材の定着における助成の実績としては、相談支援事業は3事業所(うち実施は2事業所)から申し込みがあり、実施回数は3回であった。受験料・研修費助成は37件、外国人職員受入研修助成は3件の申込があった。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・研修参加者の介護業界への興味を醸成することができた(就労希望率56%) ・介護人材確保のすそ野拡大につながった ・市内事業所職員の定着に寄与した ・施設における外国人職員の受入障壁を下げた		人材の確保については、「介護に興味を持ってもらう」というきっかけづくりは例年行っているものの、その先の「実際の介護現場を知ってもらう」「介護業界で就労してもらうためには」という次のステップが弱いと感じる。今後は研修修了者だけでなく、少しでも介護に興味がある人材と市内介護事業所の接点を増やす事業を行い、人材確保に繋げる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	入門的研修参加人数				指標・目標値の説明(算定式)	他市の例を参考に目標を設定					
	単位	人	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		30.00		30.00		30.00		30.00		30.00		
実績値・達成状況	24.00	未達成	17.00	未達成	36.00	達成						
指標②	名称	介護事業所相談支援件数				指標・目標値の説明(算定式)	県全体を対象とした同様の事業から算定					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		20.00		20.00		20.00		20.00		20.00		
実績値・達成状況	13.00	未達成	2.00	未達成	3.00	未達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	1 目	20 細目	1 細々目	介護保険事業者育成事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		3,021		4,540		4,520		2,302		1,529	
決算額(B)=(C)+(D)		1,786		2,608		2,695					
財源※	特定財源(C)	979		831		792		1,000			
	一般財源(D)	807		1,777		1,903		1,302			
概算人件費(E)		1,540		1,580		1,620		1,660		1,660	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00	0.20	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,326		4,188		4,315		3,962		3,189	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性	
54 ／60	入門的研修の申込者増加の背景には、業務プロセス改善が大きく寄与していると考えられる。具体的には、現在就業中の方も多しと想定し平日開催から土曜開催に変更したことで、潜在的な関心層の参加を促せた。一方で事業者への助成に対する申請が伸び悩んだため、周知の方法など再検討していく。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	効率化して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	軽費老人ホーム運営助成事業				担当	福祉部	
						介護保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 10191	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	30	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	川口市軽費老人ホームのサービスの提供に要する費用補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	軽費老人ホーム運営事業者が入居者から徴収すべきサービス提供に要する費用の一部の減免した場合に一部費用を補助し、当該ホームの運営の安定を図り、高齢者の福祉の向上と地域における福祉の発展に寄与する。		軽費老人ホーム運営事業者への補助を行うことにより、軽費老人ホーム運営の安定化を図り、高齢者の福祉の向上と地域における福祉の発展に寄与する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	軽費老人ホーム運営事業者に対し、運営費の一部を補助した。また、国の通知に基づき、介護職員の賃金改善のため補助を増額し、水光熱費高騰に対応するため居住費の引き上げを行った。		軽費老人ホーム運営事業者への補助を行うことにより、軽費老人ホーム運営の安定化が図られた。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・継続的かつ安定的な運営の実現 ・介護職員の賃金改善 ・光熱水費高騰への対応		介護報酬の改定に併せて、介護職員の更なる賃金改善を図る必要がある。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	軽費老人ホーム助成数				指標・目標値の説明(算定式)	過去の実績や入所状況を勘案し目標を定めた。						
	単位	施設	指標の種別	結果									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00			
実績値・達成状況	1.00		達成	1.00		達成	1.00		達成				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)							
	単位		指標の種別										
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
実績値・達成状況													

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	1 目	22 細目	1 細々目	軽費老人ホーム運営助成事業		
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		22,000		22,220		22,220		22,220		22,000	
決算額(B)=(C)+(D)		20,578		19,408		19,985					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	20,578		19,408		19,985		22,220			
概算人件費(E)		770		790		810		830		830	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	21,348		20,198		20,795		23,050		22,830	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
48 /60	当該補助金は、施設が利用料を減免した場合に補助を行うため、物価等の高騰や景気の動向等、社会事情に合わせて適正に補助できるよう、必要に応じて交付基準額の変更及び施設側との確認を進めていく。		翌年度	拡充して実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	地域密着型サービス等整備助成事業				担当	福祉部
						介護保険課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 10191	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	28	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	川口市地域密着型サービス等整備助成事業費等補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	市内に地域密着型サービスの基盤を整備する事業者に対し、その整備に必要な資金の一部を補助することにより、地域密着型サービスの基盤整備を促進し、高齢者の福祉の向上と地域における福祉の発展に寄与する。	地域密着型サービスの基盤整備を促進することにより、住み慣れた地域において生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態に応じた質の高い介護サービスを確保する。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	令和5年度に令和6年度整備を希望する事業者を公募により募集を行ったが、応募がなかったため、令和6年度は実施なし。	実施なし。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	・現状維持	介護保険事業計画に基づき整備数を公募により募集を行っているが、応募数が少ないため、計画通りに整備が進んでいない。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	地域密着型サービス基盤整備助成事業所数				指標・目標値の説明(算定式)	補助対象として決定した事業所数				
	単位	事業所	指標の種別	結果							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		5.00		3.00		0.00		3.00		0.00	
	実績値・達成状況	3.00	未達成	3.00	達成	0.00	—				
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)					
	単位		指標の種別								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	1 目	23 細目	1 細々目	地域密着型サービス等整備助成事業	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		145,221		133,904		2,403		44,505		143,452
決算額(B)=(C)+(D)		75,352		130,659		2,403				
財源※	特定財源(C)	68,852		119,823		583		44,505		
	一般財源(D)	6,500		10,836		1,820		0		
概算人件費(E)		770		790		810		830		830
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	76,122		131,449		3,213		45,335		144,282

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 /60	計画に基づき、公募により事業者を選定したうえで補助金を交付するものであるが、応募する事業者数が募集数に満たないのが現状である。徹底して公募を周知することで、応募事業者を増やす。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	地域介護・福祉空間整備推進事業				担当	福祉部	
						介護保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 10191	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	4	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金実施要綱、地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金交付要綱、川口市地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	高齢者施設等の防災・減災対策を推進する施設及び設備等の整備事業の実施により、利用者等の安全・安心を確保する。		老朽化に伴う大規模修繕の実施により、高齢者施設等における利用者等の安全・安心を確保する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	施設の冷暖房設備の修繕を行うため、国へ交付申請等の手続きを行った。		国の方針で、令和6年度から施設の冷暖房設備の修繕が補助対象外となったため、施設へ補助金を交付できなかった。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	・現状維持		年度ごとに補助対象施設や設備等が変更となることから、今回のように急遽補助対象外となり、施設へ補助ができなくなる不安定な面がある。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	補助事業所数				指標・目標値の説明(算定式)	補助対象として決定した事業所数					
	単位	事業所	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		2.00		1.00		7.00		1.00		0.00		
実績値・達成状況	2.00	達成	1.00	達成	0.00	未達成						
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	1 目	23 細目	2 細々目	地域介護・福祉空間整備推進事業			
年度		令和4年度		令和5年度			令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		12,115		23,256			0		42,828		0	
決算額(B)=(C)+(D)		11,896		23,256			0					
財源※	特定財源(C)	7,931		15,504			0		31,129			
	一般財源(D)	3,965		7,752			0		11,699			
概算人件費(E)		770		790			810		830		830	
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)		12,666		24,046			810		43,658		830	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	13 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	9 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
46 /60	事業者からの整備計画の申請を持って交付事業者を決定しているが、受付終了後に当該事業への申請について問い合わせがある。受付開始時に徹底して周知することで、期限内に申請する事業者を増やす。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	介護保険運営協議会運営費				担当	福祉部	
						介護保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 10190	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	川口市介護保険運営協議会条例					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	介護保険事業の運営に関する重要事項、地域包括支援センターの運営に関すること、介護保険施設等の運営に関すること及び地域密着型サービスの運営に関することの審議を行い、介護保険事業の適正な運営をする。	介護保険事業の適正な運営。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	当該協議会を3回開催した。審議内容は以下のとおりである。 ・第1回 介護予防支援の指定について ・第2回 第9期介護保険事業計画で定めた新規事業サポートメニューシートについて ・第3回 介護保険サービス事業者の選定について	介護保険事業の制度のより適正な運営につながった。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	介護保険に関係する様々な職種の委員からの意見を拝聴し、専門的な視点や意見を反映することができた。	今後、第10期計画の策定に向けて動いていくことになるが、委員からの意見収集とあわせ、それらをどう計画に組み込んでいくことができるかが課題となる。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	介護保険運営協議会開催回数				指標・目標値の説明(算定式)	年間で開催する会議の回数					
	単位	回	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		4.00		8.00		4.00		4.00		0.00		
実績値・達成状況		3.00 未達成		8.00 達成		3.00 未達成						
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計										介護保険運営協議会運営費	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
予算額(A)		443		885		443		435		761			
決算額(B)=(C)+(D)		280		635		313							
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0					
	一般財源(D)	280		635		313		435					
概算人件費(E)		1,925		2,370		2,025		2,075		2,075			
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.25	0.00	0.30	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	2,205		3,005		2,338		2,510		2,836			

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 /15
	業務プロセス改善	改善の余地なし			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
58 /60	当該協議会の構成委員は、知識経験者、保健・医療・福祉関係者及び被保険者(市民)となっており、各分野の意見収集が可能となっている。今後も、各委員に意見をいただきながら審議を行い、適正な時機に会議を開催し、適正な介護保険制度の運営につなげていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	介護保険電算システム費				担当	福祉部	
						介護保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 10190	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	全部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	介護保険法の改正に伴い、介護保険システムの改修を行った。		介護保険制度を円滑に運営する。		
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	介護保険システムについて、以下の箇所を改修した。 ・令和6年度介護報酬 ・地域区分 ・原案作成委託料支払業務にかかる事務処理 ・福祉用具販売費の種目コード追加 ・負担限度額認定証のレイアウト				

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 1 款 1 項 1 目 2 細目 2 細々目 介護保険電算システム費									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		5,454		23,868		7,928		7,645		76,512	
決算額(B)=(C)+(D)		0		23,868		6,534					
財源※	特定財源(C)	0		6,500		3,267		0			
	一般財源(D)	0		17,368		3,267		7,645			
概算人件費(E)		0		790		810		830		830	
従事職員人数(人)		常勤	再任用	0.00	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)		0		24,658		7,344		8,475		77,342	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	11 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
52 /60	介護保険法の改正に伴うシステム改修という専門的な内容の契約であり、関係課との情報共有や同システムを導入している他団体の状況把握に努める等、委託金額の適正化に取り組む。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	利用者負担額軽減事業				担当	福祉部	
						介護保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 10194	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	15	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険居宅サービス等利用者負担額補助金交付要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	高齢化率が急速に高まる中、一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯、認知症高齢者など、介護サービスの需要はより一層高まり、低所得の高齢者にも金額面を理由に介護サービスの受給を控えることがないようにする。		介護サービスの利用者負担額を軽減を図ることで低所得者でも安心して介護サービスを受けられるようにすることが目的。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	利用者負担額補助金勧奨及び決定通知 利用者負担額補助金の支給		令和5年度決算81,750件 233,126,835円 令和6年度決算83,447件 241,611,497円		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	利用件数が1,697件増加し、多くの介護サービスを受ける機会が増えている。		件数及び支給額の増加は、低所得の方の負担を減らし、持続的に介護サービスの提供が来ている結果と考える。予算額の増加が課題であるが、県内の他中核市でも補助率は同率かそれ以上のため、補助率を下げることは難しい。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称				指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位	指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										
指標②	名称				指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位	指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	実績値・達成状況										

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 1 款 1 項 1 目 2 細目 3 細々目 利用者負担額軽減事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		230,020		241,068		254,644		268,546		261,967	
決算額(B)=(C)+(D)		229,396		238,150		247,320					
財源※	特定財源(C)	16,474		17,729		16,195		22,602			
	一般財源(D)	212,922		220,421		231,125		245,944			
概算人件費(E)		1,309		1,343		1,377		1,411		1,411	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.17	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	230,705		239,493		248,697		269,957		263,378	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 ／60	年々、介護保険サービスの利用者が増加し、補助対象者及び事業費も増加傾向にある。低所得者において、必要な介護保険サービスの利用が抑制されることがないよう、現状維持とする。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	介護保険事業計画策定事業				担当	福祉部	
						介護保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 10190	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	12	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	介護保険法に定められた3年を1期とする介護保険事業計画を策定するもの。		介護保険の方向性を事業に適切に反映させ、介護給付の円滑な実施を図ること。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	介護保険の方向性を事業に適切に反映させ、介護給付の円滑な実施を図ること。		計画期間中2年目に、高齢者福祉計画に関わるアンケート等と同時に実施することで、業務の効率化が図られた。		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	計画策定にかかる業務が効率化されたほか、ニーズ調査の対象者への負担も軽減された。		来年度実施するニーズ調査、給付と負担のバランス、市の情勢及び介護保険制度運営協議会からの意見聴取や情報収集により、本市に即した計画を策定する。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	計画策定の進捗状況				指標・目標値の説明(算定式)	介護保険事業計画策定の進捗率を目標値とした。					
	単位	%	指標の種別	活動								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		20.00		100.00		5.00		20.00		0.00		
	実績値・達成状況	20.00	達成	100.00	達成	5.00	達成					
指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 1 款 1 項 1 目 2 細目 5 細々目 介護保険事業計画策定事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		1,293		3,059		0		1,218		2,609	
決算額(B)=(C)+(D)		1,210		2,943		0					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	1,210		2,943		0		1,218			
概算人件費(E)		2,079		2,765		2,187		2,241		2,241	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.27	0.00	0.35	0.00	0.27	0.00	0.27	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	3,289		5,708		2,187		3,459		4,850	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など				今後の実施方向性	
56 /60	高齢化の進展に伴い、要介護認定者が増加し、介護給付費も増大する傾向にあることから、市民のニーズを反映させるだけではなく、給付と負担のバランスや市の情勢に配慮した介護保険事業計画を策定する必要がある。介護保険制度運営協議会からの意見聴取や情報収集にも努め、より本市の実情に即した内容の計画となるよう進めていく。				翌年度	現状維持で実施
					翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	介護保険料賦課徴収関係経費				担当	福祉部	
						介護保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 10193	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	年度	～	年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実		
根拠法令等	介護保険法第129条～146条		

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの	実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	介護保険制度運営の財源である保険料の賦課徴収に係る経費の計上	同左	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	・被保険者証作成(資格取得者) ・当初賦課(賦課対象者) ・月次賦課(賦課対象者) ・督促状発送(滞納者) ・催告書発送(滞納者) ・差押(滞納者)	保険料の適正な賦課を行うとともに、収納率に係る目標値を達成させたことにより、制度維持及び事業の財政安定につながった。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
介護サービスを利用することができた。		収納率は毎年上昇しているが、今後高齢化はさらに進むことから、基準額の上昇は避けられない。そのため、収納率を維持していくことは困難になることが予想される。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	現年度普通徴収保険料の収納率向上				指標・目標値の説明(算定式)	前年度並みの収納率を目指すもの					
	単位	%	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		90.80		92.30		93.60		94.14		0.00		
実績値・達成状況	92.30	達成	93.60	達成	94.14	達成						
指標②	名称	滞納繰越分普通徴収保険料の収納率向上				指標・目標値の説明(算定式)	収納率20%を目指すもの					
	単位	%	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		18.45		20.08		20.00		20.00		0.00		
実績値・達成状況	20.08	達成	22.62	達成	20.51	達成						

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計						介護保険料賦課徴収関係経費			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		35,452		35,926		36,629		44,195		45,784	
決算額(B)=(C)+(D)		31,057		31,788		34,526					
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0			
	一般財源(D)	31,057		31,788		34,526		44,195			
概算人件費(E)		53,900		55,300		48,600		58,100		58,100	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	7.00	0.00	7.00	0.00	6.00	0.00	7.00	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	84,957		87,088		83,126		102,295		103,884	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	15 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
56 /60	介護保険は、保険料と公費を財源にしている制度であることから、制度を維持していくためにも口座振替加入の推進、催告及び差押えなどの実施により、普通徴収・滞納繰越の収納率を向上させることが課題である。また65歳年齢到達者や転入者など滞納月数の浅い者への納付を促し、滞納繰越へ移行させないように取り組む。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	介護認定審査会関係経費				担当	福祉部	
						介護保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 10192	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	28	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第14条、15条					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち義務的なもの		実施形態	一部委託
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	介護保険サービスを利用する方から、要介護・要支援認定申請を受理し、関連業務を実施し、認定処分を行う。(認定調査・主治医意見書の提出・認定審査会に関すること)		市民が介護保険サービスを利用するために必要な要介護・要支援認定の審査・判定を行う。	
当該年度の実施内容及び成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	①要介護・要支援認定申請の受付 ②主治医意見書作成手数料の支払い ③要介護認定のための訪問調査の委託又は、調査の実施 ④介護認定審査会の開催		①申請受付件数21,887件 ②主治医意見書作成手数料21,491件分支払い ③認定調査委託件数17,019件、市調査件数4,054件、合計21,073件 ④審査会開催件数542回、審査判定件数19,914件	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	認定結果に基づき介護保険サービスを利用することが可能となる。		1年間で542回の審査会を開催し、19,914件の判定をすることが出来た。申請の受理から決定までにかかる日数が多くかかっている中、人員の増や審査会の簡素化等により期間短縮を図っている。今後、認定審査会の関係団体への相談・調整により、審査件数の増など更なる取組の実施を目指す。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	認定申請件数			指標・目標値の説明(算定式)	高齢者人口や認定中の人数から推計				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		19,495.00		17,820.00		22,000.00		20,500.00		20,000.00
	実績値・達成状況	23,858.00	達成	22,850.00	達成	21,887.00	未達成			
指標②	名称	審査会開催回数			指標・目標値の説明(算定式)	高齢者人口や認定中の人数から推計				
	単位	件	指標の種別	結果						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
		557.00		540.00		630.00		585.00		535.00
	実績値・達成状況	531.00	未達成	539.00	未達成	542.00	未達成			

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計		1 款	3 項	1 目	1 細目	1 細々目	介護認定審査会関係経費			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		240,744		237,663		284,349		311,644		294,993		
決算額(B)=(C)+(D)		220,105		230,037		276,670						
財源※	特定財源(C)	0		0		0		0				
	一般財源(D)	220,105		230,037		276,670		311,644				
概算人件費(E)		123,200		118,500		121,500		132,800		132,800		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	16.00	0.00	15.00	0.00	15.00	0.00	16.00	0.00	16.00	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)		343,305		348,537		398,170		444,444		427,793		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	行った・既に行った			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 /60	認定者数が年々増加し、申請者数が高止まりの状況となっている中、速やかな認定調査の実施、主治医意見書の早期提出につながる方法の模索、介護認定審査会における審査件数の増など、安定した認定事務を行うことにより、認定結果までの期間短縮に努める。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調査

評価対象年度 令和6年度

事業名称	介護給付費等点検事業				担当	福祉部	
						介護保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 10194	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	22	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	適切な介護サービスを被保険者に提供するため、ケアプランや住宅改修、福祉用具の貸与が適切であるかを点検し、介護給付費の誤請求の早期発見など、介護保険の健全な運営に努める。		介護給付費等の点検を効果的・効率的に実施することで、介護保険制度の信頼感を高める。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	適正化点検員の委嘱 実施点検(ケアプラン、福祉用具購入、住宅改修、縦覧、医療突合点検)		27件のケアプラン点検を実施し、介護支援専門員への気づきを促すとともに誤請求の防止など、適切なサービスの提供が図られた。 また、住宅改修1,284件、用具購入・貸与1,726件の点検を実施し、事業者等への聞き取りを住宅改修では施工前・施工後合わせて6件、用具購入・貸与では2件行った	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	点検を行うことで、本人の状態に合った福祉用具の購入・貸与や住宅改修を行え、適切な介護サービスの提供が行えた。		住宅改修や福祉用具の購入・貸与の点検は全件行っているが、ケアプラン点検には時間を要するため、効率的かつ効果的な点検方法の検討が必要である。これまで少数の点検員が専門的にケアプラン点検を行っていたが、令和5年度からは全点検員がケアプラン点検を行う体制に変更した。引き続き全点検員が経験を積み、精度を高めるよう努める。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	ケアプラン、福祉用具購入、住宅改修点検件数			指標・目標値の説明(算定式)	点検件数(目標値は、前年度のケアプラン件数に5件プラスし、福祉用具購入、住宅改修の前年度の件数に認定者伸率を乗じて算出)						
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		3,276.00		3,137.00		3,023.00		3,061.00		0.00		
	実績値・達成状況	3,078.00	未達成	2,935.00	未達成	3,037.00	達成					
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)							
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	実績値・達成状況											

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計		3 款	3 項	1 目	1 細目	2 細々目	介護給付費等点検事業			
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)		8,271		8,235		8,690		10,130		10,541		
決算額(B)=(C)+(D)		6,985		7,877		8,130						
財 源 ※	特定財源(C)	5,640		6,361		6,565		8,181				
	一般財源(D)	1,345		1,516		1,565		1,949				
概算人件費(E)		1,309		1,343		1,377		1,411		1,411		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.17	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00	0.17	0.00
総事業費[(A)又は(B)]+(E)		8,294		9,220		9,507		11,541		11,952		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	各種点検において、国保連データを活用し介護給付費の誤請求を防止していく。ケアプラン点検は、点検結果を報告書にまとめ、事業者との面談や点検結果通知において、ケアプランの質と介護サービスの向上を図る。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度	令和6年度
--------	-------

事業名称	福祉用具・住宅改修支援事業				担当	福祉部
						介護保険課
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 10194	新規・継続	継続

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	介護保険法第115条の45					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	居宅介護支援の提供を受けていない要介護者等に対する住宅改修理由書作成のみの業務に対し、市がその業務に係る手数料を支払うことにより、介護支援専門員等を支援する。		居宅介護支援の提供を受けていない要介護者等が住宅改修事業を円滑に利用できるようにすること。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	申請件数が0のため未実施		結果・実績なし	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	なし		令和6年度は該当が無かったが、他の介護サービスの提供を受けていない要介護者が住宅改修のみを受けたい場合の理由書作成の手料は介護支援員への報酬の一部であるため、引き続き必要である。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	延べ件数(福祉用具・住宅改修支援事業)			指標・目標値の説明(算定式)	手数料年間延べ件数			
	単位	件	指標の種別	結果					
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		60.00		20.00		20.00		10.00	
	実績値・達成状況	1.00	未達成	2.00	未達成	0.00	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計										福祉用具・住宅改修支援事業			
年度		令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度	
予算額(A)		80			44			44			44			22	
決算額(B)=(C)+(D)		2			4			0							
財源※	特定財源(C)	2			3			0			36				
	一般財源(D)	0			1			0			8				
概算人件費(E)		539			553			567			581			581	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	541			557			567			625			603	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	低かった	5 /15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	9 /15
	市関与の必要性	低かった			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	どちらともいえない			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	不明	7 /15	公平性	受益者の資格条件	受益者なし	13 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	受益者なし	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
34 /60	居宅介護支援の提供を受けていない要介護者等が住宅改修事業を円滑に利用するための事業であるため、実施件数に関わらず今後とも現状維持で実施する。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	地域自立生活支援事業				担当	福祉部	
						介護保険課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	258-1110 10194	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間		年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実				
根拠法令等					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	直営
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	特別養護老人ホームなど施設サービスを提供する介護サービス事業者を対象に、利用者が安心して介護サービスを受けられる環境を整理する。		介護サービス相談員が現場を訪れて相談に応じ、相談員と事業者が意見交換を行うことにより、利用者の日常的な不満や疑問、不安の解消を図る。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	介護サービス相談員の事業所への派遣 介護サービス相談員の育成(研修) 介護サービス相談員に1人/回につき3,000円の報奨金を支払った		派遣回数173回 開取りに参加された利用者数379名 活動報告書を毎月作成し、年2回相談員と事業所の意見交換会を行った。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	令和6年度は7事業所に対し介護サービス相談員を派遣したが、年間を通して相談員視点で見た事業所の状態について意見交換を行うことで、利用者の不安解消及び事業者の適正なサービス提供を支援した。		目標派遣回数に達していないため、令和7年度は訪問する事業所数を増やし、派遣回数を増やしていく。利用者からの不満・不安だけでなく良いと感じている部分も事業所にフィードバックし、双方の橋渡しとして役割を高めたい。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	事業派遣回数			指標・目標値の説明(算定式)	1事業所に対して2名派遣、月12事業所実施とし、派遣回数目標は2名×12事業所×12か月＝288回とする。			
	単位	回	指標の種別	結果					
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		288.00		288.00		288.00		288.00	
	実績値・達成状況	20.00	未達成	134.00	未達成	173.00	未達成		
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)				
	単位		指標の種別						
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市介護保険事業特別会計 3 款 3 項 1 目 3 細目 4 細々目 地域自立生活支援事業									
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		1,081		1,192		1,208		1,239		862	
決算額(B)=(C)+(D)		87		598		619					
財源※	特定財源(C)	70		483		500		1,000			
	一般財源(D)	17		115		119		239			
概算人件費(E)		1,771		1,817		1,863		1,909		1,909	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.23	0.00	0.23	0.00	0.23	0.00	0.23	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	1,858		2,415		2,482		3,148		2,771	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待以下	11 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	活用の余地なし			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
50 ／60	7事業所へ介護サービス相談員を派遣し、利用者の不安解消等ができた。しかし、介護サービス相談員が減少しているため、養成研修などに参加し担い手を増やし、派遣先の事業所数を増やしていく。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業				担当	保健部	
						高齢者保険事業室	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7653	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和	4	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-② 介護事業の充実					
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、埼玉県後期高齢者医療広域連合高齢者保健事業計画、広域計画					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託	
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)		
	日常生活圏域ごとに、ポピュレーションアプローチと、ハイリスクアプローチを実施し、高齢者のフレイル予防、疾病の重症化予防等が期待でき、医療費、介護費の抑制が見込まれる。		高齢者が健康に長生きできるよう健康寿命を延伸するため、日常生活圏域ごとの特性を把握し、必要に応じた取り組みを検討・実施していく。		
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)		
	通いの場における、対象被保険者への健康指導等および糖尿病性腎症患者への治療経過確認、指導等		実施回数:4回(1圏域1回開催) 参加者数:90人		
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題		
	受診者に対する保健指導により、健康状態の経過観察ができ、糖尿病性腎症患者への保健指導ができた。また、健康管理に対する意識の向上が図られた。		高齢者の社会参加促進、フレイル予防、疾病の重症化予防等の様々な効果を期待するため引き続き実施していく。		

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	実施圏域数			指標・目標値の説明(算定式)	日常生活圏域(20圏域)すべての事業実施を最終目標に、投下できる資源を踏まえ設定した							
	単位	箇所	指標の種別	結果									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
		2.00		4.00		4.00		20.00		20.00			
	実績値・達成状況	2.00 達成		4.00 達成		4.00 達成							
指標②	名称				指標・目標値の説明(算定式)								
	単位		指標の種別										
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市後期高齢者医療事業特別会計									
		1 款	1 項	1 目	2 細目	3 細々目	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業				
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
予算額(A)		9,094		8,831		8,823		15,492		15,492	
決算額(B)=(C)+(D)		1,767		2,119		2,963					
財源※	特定財源(C)	1,767		2,119		2,896		14,599			
	一般財源(D)	0		0		67		893			
概算人件費(E)		6,930		7,110		7,290		7,470		7,470	
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.90	0.00	0.90	0.00	0.90	0.00	0.90	0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)	8,697		9,229		10,253		22,962		22,962	

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	9 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	15 ／15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行わなかった			対象者への周知	十分行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
52 ／60	職員対応では限界があるため、委託事業として圏域拡大とともに実施していく。	翌年度	拡充して実施
		翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	全国健康福祉祭開催準備事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	主要事業	その他	問い合わせ先	259-7651	新規・継続	新規	

1 事業期間・根拠等

事業期間	令和 6 年度 ～ 令和 8 年度
第5次川口市総合計画	I 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-③ 社会参加の場と機会の充実
根拠法令等	

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの	実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)	事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	全国健康福祉祭は60歳以上の高齢者を中心とするスポーツ、文化の祭典でふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与することを目的に開催されている。	令和8年11月の埼玉大会を開催する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)	②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	先催県への視察	水泳、健康マージャンの鳥取大会開催市町村で大会視察を行った。	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)	①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	埼玉大会の参考になった。	令和7年度リハーサル大会、令和8年度の本大会にむけて準備を行う。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称		指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								
	実績値・達成状況								
指標②	名称		指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位								
	目標値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度			
	実績値・達成状況								
	実績値・達成状況								

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目			川口市一般会計		3 款	2 項	1 目	19 細目	1 細々目	全国健康福祉祭開催準備事業			
年度			令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)			0		0		270		12,194		28,784		
決算額(B)=(C)+(D)			0		0		248						
財 源 ※	特定財源(C)		0		0		75		0				
	一般財源(D)		0		0		173		12,194				
概算人件費(E)			0		0		2,592		4,150		4,150		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.00	0.00	0.00	0.00	0.32	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00	
総事業費[(A)又は(B)]+(E)			0		0		2,840		16,344		32,934		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	どちらともいえない	11 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	11 /15
	市関与の必要性	どちらともいえない			施策(上位目的)への貢献	どちらともいえない	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	どちらともいえない	7 /15	公平性	受益者の資格条件	受益者なし	11 /15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	受益者なし	
	民間活用	検討した			対象者への周知	行わなかった	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性
40 /60	令和8年度(第38回)ねりんピックの埼玉県での開催が決定したことから、大会開催に向け市民の気運を醸成するため大会の周知・浸透を図る。	翌年度 拡充して実施 翌々年度 拡充して実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	老人福祉センター事業補助金				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	13	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-③ 社会参加の場と機会の充実					
根拠法令等	老人福祉センター事業費補助金要綱					

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	補助金・負担金
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)	
	川口市社会福祉事業団に移管した施設に対し、(たたら荘・やすらぎの家・鳩ヶ谷福祉センター)運営費補助を行う。		各施設における従前からのサービスを継続する。	
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)	
	運営に必要な事業費を補助した。		補助額 72,700,000円	
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題	
	各施設で実施するサービスを継続的に提供できた。		利用者への継続的なサービス提供が行えている。	

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									
指標②	名称			指標・目標値の 説明(算定式)						
	単位		指標の種別							
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
	実績値・達成状況									

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目		川口市一般会計		3 款	2 項	1 目	7 細目	1 細々目	老人福祉センター事業補助金	
年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
予算額(A)		78,047		85,721		80,885		72,700		72,700
決算額(B)=(C)+(D)		57,138		76,746		76,028				
財源※	特定財源(C)	6,000		0		0		0		
	一般財源(D)	51,138		76,746		76,028		72,700		
概算人件費(E)		770		790		810		830		830
	従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10 0.00
	総事業費{(A)又は(B)}+(E)			57,908		77,536		76,838		73,530 73,530

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 ／15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 ／15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	11 ／15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 ／15
	業務プロセス改善	行わなかった			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など		今後の実施方向性	
52 ／60	施設の老朽化が進んでおり、今度も同様に事業実施が可能なのか、事業者との協議が必要となる。		翌年度	現状維持で実施
			翌々年度	現状維持で実施

実施計画事業評価調書

評価対象年度 令和6年度

事業名称	生きがい活動支援事業				担当	福祉部	
						長寿支援課	
事業区分	通常事業	-	問い合わせ先	048-259-7651	新規・継続	継続	

1 事業期間・根拠等

事業期間	平成	8	年度	～		年度
第5次川口市総合計画	Ⅰ 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”-3 高齢者の暮らしの安心・生きがいづくり-③ 社会参加の場と機会の充実					
根拠法令等						

2 事業概要

事務分類	自治事務のうち任意のもの		実施形態	一部委託		
事業の概要	事業の目的・背景(誰に・何をしたいのか・実施の背景)		事業のめざす姿(事業が目指す最終的な成果)			
	・たたら荘及び鳩ヶ谷福祉センターを2人体制で巡回し、各種相談に応じたり、アドバイスをし、高齢者の健康と生きがいづくりの啓発を行う。 ・高齢者を地域で見守り、支えあう体制の強化を図る。		高齢者の健康と生きがいづくりの啓発および、高齢者を地域で見守り、支えあう体制の強化を図る。			
当該年度の 実施内容及び 成果	①アクション(当該年度に何を実施したか)		②アウトプット(①を実施した結果・実績)			
	・たたら荘及び鳩ヶ谷福祉センターを2人体制で巡回し、各種相談に応じたり、アドバイスをしたりした。 ・65歳の誕生日を迎えた方に、地域支え合い「あんしんカード」を送付。		生きがいづくりアドバイザー 相談要件:1,165人 地域支えあいあんしんカード 発行枚数:7,399枚			
	③アウトカム(①②をしたことにより対象はどうなったか)		①～③を踏まえ、めざす姿から見た現在の進捗状況及び課題			
	高齢者の健康・生きがいづくりの推進に寄与できた。また、地域での見守り体制の強化に繋がった。		より多くの方に生きがいづくりアドバイザーによる相談を知ってもらうため、引き続きスケジュールを市ホームページに掲載したり、現地でのチラシ配布等を行う。 ・地域支え合いあんしんカードの主旨を広く市民に周知する必要がある。			

3 事業活動・成果の状況

指標①	名称	生きがいづくりアドバイザー相談件数				指標・目標値の説明(算定式)	過去3年間の実績から算出					
	単位	件	指標の種別	結果								
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
		400.00		550.00		1,000.00		1,000.00		0.00		
実績値・達成状況	458.00	達成	995.00	達成	1,165.00	達成						

指標②	名称					指標・目標値の説明(算定式)						
	単位		指標の種別									
	目標値	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
実績値・達成状況												

4 年度別事業費(単位:千円)

予算費目	川口市一般会計	3 款	2 項	2 目	4 細目	1 細々目	生きがい活動支援事業			
年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
予算額(A)	2,565	2,663		2,792		3,073		3,073		
決算額(B)=(C)+(D)	1,696	2,367		2,452						
財源※	特定財源(C)	0		0		0				
	一般財源(D)	1,696		2,367		2,452		3,073		
概算人件費(E)	2,310	2,370		2,430		2,490		2,490		
従事職員人数(人)	常勤	再任用	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
総事業費{(A)又は(B)}+(E)	4,006	4,737		4,882		5,563		5,563		

※評価年度以前は決算額(B)の財源を、評価年度の翌年以降は予算額(A)の財源を表示しています。

5 視点評価

視点	評価項目	判定	視点評価	視点	評価項目	判定	視点評価
必要性	現在の市民のニーズ	高かった	15 /15	有効性	期待どおりの成果	期待どおり	13 /15
	市関与の必要性	高かった			施策(上位目的)への貢献	高かった	
	将来的な市民のニーズ	見込める			目的に対する事業内容	適正	
効率性	コストに対する成果	高かった	13 /15	公平性	受益者の資格条件	適正	13 /15
	業務プロセス改善	検討した			受益者負担の水準	適正	
	民間活用	行った・既に行った			対象者への周知	行った	

6 総評価・今後の事業展開

総評価	事業の進捗状況及び課題を踏まえた、コスト削減案や今後の方針・考え方など	今後の実施方向性	
54 /60	地域支え合いあんしんカードの主旨を広く市民に周知ができれば、市から配布をせずとも市民が自発的に同等のメモを常に持ち歩くようになり、見守り体制の強化について他のアプローチ方法を検討することができるものとする。	翌年度	現状維持で実施
		翌々年度	現状維持で実施